

第7回議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 平成26年6月2日（月）午前10時0分
- 2 閉会日時 平成26年6月2日（月）午前11時42分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
4番 保田 守君 7番 原田 素代君 8番 金谷 文則君
10番 松田 勲君 11番 北川 勝義君 13番 福木 京子君
15番 岡崎 達義君 18番 小田百合子君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
市 長 友實 武則君 副 市 長 内田 慶史君
総 務 部 長 岡本 衛典君 教 育 長 杉山 高志君
教 育 次 長 奥田 智明君 総 務 課 長 入矢五和夫君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 富山 義昭君 主 幹 黒田 未来君
- 8 協議事項 1) 平成26年6月行事予定について
2) 平成26年6月第2回赤磐市議会定例会の会期、日程及び議会運営について
3) 一般質問について
4) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（原田素代君） 皆さんおはようございます。

それでは、第7回の議会運営委員会を開会させていただきます。

開会に先立ち、議長から挨拶をお願いします。

○議長（小田百合子君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、議長。

○議長（小田百合子君） 皆さんおはようございます。

本日の議会運営委員会で全員協議会の前にまず皆様にお諮りしたいことも何点かありますので、ぜひとも慎重に御審議くださるようお願いいたします。

以上です。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項第1番目、平成26年6月行事予定について議会事務局及び執行部からそれぞれ説明を求めます。

○議会事務局長（富山義昭君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、局長。

○議会事務局長（富山義昭君） それでは、お手元の資料の2枚目をごらんください。

平成26年6月の議会行事予定案でございます。

まず、6月2日月曜日10時から議会運営委員会、委員会室で開催でございます。この後、13時から議会全員協議会、協議会室で全議員の御出席で開催をさせていただきます。

6日金曜日10時から赤磐市立ひかり幼稚園新築工事起工式が桜が丘西3丁目の幼稚園でございます。各議員の御出席をお願いいたします。

7日土曜日は市立の中学校の体育会でございます。吉井中学校は既に実施しております。9時からと9時半からそれぞれの学校で開催されますので、各議員の御出席をお願いいたします。

9日月曜日は10時から本会議、議案の上程でございます。議場で全議員の御出席をお願いいたします。

10日火曜日は予備日、11日水曜日、12日木曜日がそれぞれ10時から本会議、一般質問でございます。議場で全議員の御出席をお願いいたします。

13日金曜日は休会日、予備日でございますが、この日の13時から青少年を守り育てよう！S TOP・交通事故inあかいわが赤磐警察署で開催されます。議長の出席です。17時30分から赤磐市チャレンジデー実行委員会が2階第1会議室で開催されます。議長、総務文教常任委員長の御出席をお願いいたします。

16日月曜日は10時から本会議、質疑、委員会付託でございます。議場で全議員の御出席をお

願いをいたします。

翌17日は予備日、休会となっております。

18日から厚生常任委員会が10時から委員会室で開催されます。厚生常任委員の皆さんの御出席をお願いいたします。

19日木曜日は同じく10時から産業建設常任委員会が委員会室で開催されます。産業建設常任委員の皆さんの御出席をお願いいたします。

20日金曜日は9時から例月出納検査が監査事務局でございます。行本議員の御出席ですが、この日の10時から総務文教常任委員会が委員会室で開催されます。総務文教常任委員の皆さんの御出席をお願いいたします。

23日月曜日は休会、予備日となっております。

27日金曜日10時から本会議、委員長報告、質疑、討論、採決となっております。議場で全議員の御出席をお願いいたします。

なお、この日は本会議終了後、議会運営委員会を開催させていただきますので、委員会室へお集まりください。議会運営委員の皆さんの御出席をお願いいたします。

6月30日月曜日は10時30分から岡山県中部高原地域整備促進期成会総会が吉備高原リゾートホテルで開催されます。議長の御出席です。

以上が議会関係の行事予定案でございます。

○委員長（原田素代君） じゃあ、引き続きまして執行部から。

○総務部長（岡本衛典君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、岡本総務部長。

○総務部長（岡本衛典君） それでは、執行部の予定をお知らせさせていただきます。

6月2日10時から議会運営委員会、三役出席でございます。13時から議会全員協議会、協議会室で三役の出席です。15時30分から定例記者懇談会、2階第1会議室で市長の出席です。

3日火曜日8時30分から全国市長会議、これ4日までになりますが、東京都のほうで市長の出席でございます。8時40分から指名委員会、2階第1会議室、副市長の出席です。13時30分から赤磐市郷土資料館協議会、中央公民館第2会議室で教育長の出席です。

6日の金曜日10時から赤磐市立ひかり幼稚園新築工事起工式、桜が丘西3丁目で三役の出席でございます。

7日土曜日、9時と9時30分ございますが、市立中学校の体育会でございます。赤坂中学校だけが9時30分となっております。各中学校で三役の出席です。

9日月曜日10時から本会議、議案の上程でございます。議場で三役出席です。

10日火曜日14時から校園長会議、中央公民館、教育長の出席です。

11日、本会議、一般質問でございます。議場で三役出席、12日が同様でございます。

13日金曜日8時40分から指名委員会、2階第1会議室、副市長の出席です。13時から青少年

を守り育てよう！STOP・交通事故inあかいわ、赤磐警察署で市長、教育長の出席です。
13時30分から赤磐市地域医療ミーティング推進協議会、2階第1会議室で市長、副市長の出席
です。17時30分から赤磐市チャレンジデー実行委員会、2階第1会議室で三役の出席です。

16日月曜日10時から本会議、質疑、委員会付託、議場で三役出席でございます。

18日水曜日10時から厚生常任委員会、委員会室で市長、副市長出席でございます。

19日木曜日9時から学校訪問、各学校、小学校、幼稚園で教育長の出席でございます。10時
から産業建設常任委員会、委員会室で市長、副市長の出席です。15時から教育委員会会議、中
央公民館第2会議室、教育長の出席です。

20日金曜日10時から総務文教常任委員会、委員会室で三役の出席です。

21日土曜日11時から東海岡山県人会定時総会、名古屋市のほうで副市長の出席です。12時
30分から岡山県看護連盟総会、岡山コンベンションセンターで市長の出席です。

24日火曜日10時から公民館運営審議会、中央公民館第1会議室で教育長の出席です。15時か
ら市町村長意見交換会、真庭市役所で市長の出席でございます。

25日水曜日14時から図書館協議会、中央図書館で教育長の出席です。

26日木曜日13時30分から赤磐市の医療体制の将来を考える懇談会、北部地域、仁美農村振興
センターで市長、副市長の出席です。

27日金曜日10時から本会議でございます。議場で三役出席です。終了後、議会運営委員会、
委員会室、三役の出席でございます。

30日月曜日13時30分から赤磐市の医療体制の将来を考える懇談会、熊山地域を熊山支所で市
長、副市長の出席でございます。

以上でございます。

○委員長（原田素代君） 双方からの報告がございました。

皆さんのほうから御質問や御意見ありましたらお願いいたします。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 全体なんですけど、市の地域医療ミーティング推進協議会とか北部地
域じゃとか熊山地域というんが、これは傍聴は可能なんでしょうか、どんな。その内容に入ら
んじゃけど、可能かだけ。

○委員長（原田素代君） お答えください。

総務部長。

○総務部長（岡本衛典君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、岡本総務部長。

○総務部長（岡本衛典君） 傍聴は可能だと思うんですけど、ちょっと資料が今、申しわけご
ざいませぬ。

○委員（北川勝義君） じゃあ、ちょっといい。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 前と同じようにやるんですか。

○委員長（原田素代君） 前っていうと……。

○委員（北川勝義君） 今まで……。

○委員長（原田素代君） ことし入ってからの。

○委員（北川勝義君） 今までやりようたとおりの。

○委員長（原田素代君） 変更はないですね。

○総務部長（岡本衛典君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、岡本部長。

○総務部長（岡本衛典君） 従来の懇談会の形式になろうかと思えます。

○委員（北川勝義君） うん。

○委員長（原田素代君） ですから、傍聴は……。

○総務部長（岡本衛典君） 可能だと思います。

○委員（北川勝義君） 前はえかったから。

以上です。

○委員長（原田素代君） ほかにありませんか。

はい、福木委員。

○委員（福木京子君） 一般的に聞きたいんですが、市のほうの行事の東海岡山県人会定期総会って、これは全国的な何かそういう地域的なんがあって、大体出られるんですか。いろんな情報のそういう分で得とったら、いろいろな。

○委員長（原田素代君） 県人会の……。

○委員（福木京子君） 県人会。

○委員長（原田素代君） ことについてのお尋ねです。

○委員（福木京子君） 21日。それぞれのブロックがあって、企業誘致やいろんな情報交換で、ひょっとしてそういう分が出られるんですか。

○委員長（原田素代君） はい、岡本部長。

○総務部長（岡本衛典君） 東海県人会のほうの御案内をいただいております。今回、定時総会ですから、あちらの総会は定時的にやられとるということですが、今回の御案内見ますと、岡山県の各市町村からの特産品とか観光PRとかというふうなことを考えられとるようでございます。

○委員長（原田素代君） ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） それでは、続いて協議事項の3番目、一般質問について局長のほうからの説明をお願いします。

○議会事務局長（富山義昭君） 2番目を。

○委員長（原田素代君） 失礼しました。2番目がありましたね。ごめんなさい。

2番目の平成26年6月第2回赤磐市議会定例会の……。

○委員（北川勝義君） ちょっちょっちょっちょつと、ちょっと委員長、ちょっとその前に…
…。

○委員長（原田素代君） 前に。

はい。

○委員（北川勝義君） これだけ、いいですか。

○委員長（原田素代君） はい、どうぞ。

○委員（北川勝義君） 濟いけません。けちをつけるんじゃねえんですけど、チャレンジデーやこうは今まで7時にやりようたのが17時半とかかれて、時間的なんはちょっとどうかわからんですけど、やられたん、どういう意味で17時半にしたんか、変えたんか、僕も意見あったんですけど、ちょっと1つ聞かせていただきたいんと、それからさっき言いました地域医療ミーティング、どこも13時30分で平日の日なんです。1時半なんですわ。これ1時半ぐれえがやっぱり皆、集まるぐれえで、時間帯のことをちょっと聞いたかったんで、意図がなかったら結構、わからんならわからんでええです。

○委員長（原田素代君） じゃあ、2つについて、チャレンジデーのほうの会議の時間設定と医療ミーティングを初めとした懇談会の時間設定についてそれぞれ御答弁お願いします。

どちらが。

○教育次長（奥田智明君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、奥田次長。

○教育次長（奥田智明君） チャレンジデーの実行委員会の開催の時間なんですけど、会長のほうのどうしても日程の都合で、19時からのをちょっと前倒して17時半からとさせていただきます。

○委員長（原田素代君） はい、岡本部長。

○総務部長（岡本衛典君） 医療体制の懇談会のほうですけども、1時30分と特別思慮はないんですけども、集まりやすさを考えて決めたんだろうと思いますが。

○委員（北川勝義君） よろしい。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 委員長、委員長。

○委員長（原田素代君） はい。

○委員（北川勝義君） 医療体制のほうはわかりました。集まりにきいんか集まりやしいんかちょっとわからんじゃけど、こういうことを言うたら大変失礼な話になるんじゃけど、6月13日というたらまだ田植えの真っ最中に入るんじゃねえかなあとちょっと今、心配しとんです

よ。そういうことがあるんで、そりゃ朝早うももうできんのじゃけど、ちょっとそこらあが設定日がどうじゃったんかなあと思うて。別に、日程表なんでどうこう言うつもりもありませんが、そう思いました。

それから、チャレンジデーについてなんですけど、6月13日の、これも田植えがまだ真っ最中、入っとなともあると思う。19時じゃったら来れる可能性もあるんじゃないかと思うたんじゃけど、前のときの5月21日のチャレンジデーの会議のときに、次回は6月13日の19時ですというて言われとん。そりゃあ副委員長も議長もおられて聞かれとんと思うんですよ。せえ、これが会長の責任で、議運じゃから……。

○委員長（原田素代君） 都合で。

○委員（北川勝義君） 都合でというのはちょっと。会長というのは市長なんじゃけど、ちょっと責めるんじゃないんですけど、委員長、これは議運じゃあから日程のえんじゃけど、チャレンジデーのことだけに関して言ようんじゃないじゃけど、だけに関しとんで、今は。一応皆さんに19時じゃ言うとのから、どんなんかなあと今ちょっと思うて。皆さんがええというて、議長は副じゃけん聞かれとんかもしれんけど、ちょっと今そんな思うたんで、そこら周り。何が委員長、言いてえというたら、公表するでしょう。例えば、きょう委員長が会議して、次回は11時からですよというて言うのってから10時にしたり、日にちがあるんじゃないけど、どんなんかなあとちょっと今そう、考え方。仮に、こういう言い方したらちょっとおかしい、会長が出られなんでのときには議長の小田が副で、せえから遠藤さんが町内会、副なんですわ。2人おるんですわ。遠藤さんせえというわけにいかんかもしれんけど、議長がかわりに代行ができると思うんで、皆さんが了承、大部分がええんじゃったらえんじゃけど、今ちょっとそれを思うたんで、どんなんかなあ。

○委員長（原田素代君） そういう懸念があるよということですが、それについての答弁をお願いします。

○教育次長（奥田智明君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、奥田次長。

○教育次長（奥田智明君） おっしゃるとおり、前回の会議のときに次回の御案内として日にちと時間もお知らせしとります。おっしゃるとおり、事務局サイドの都合でございましたのでできるだけ早く御案内をして、15時30分からのということで、来られる方が間違いないようにちょっと早目の通知で徹底をさせていただこうというふうに思っております。

○委員長（原田素代君） まだしてないんですか。

○委員（北川勝義君） ちょっちょっちょっ。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員、どうぞ。

○委員（北川勝義君） 委員長、僕が言うた質問は、時間は前言うるとき、今ので答えわかったんで、19時じゃ言ようたんが5時半にしてえと。そして、それはまだこれから通知すん

で、早目に通知してえという、それはわかったんです。じゃけど、そうじゃのうて、僕は次の
を言いたかったのは、これ内容に入ったらとめてください。内容じゃねえと。

○委員長（原田素代君） いや、いいですよ。

○委員（北川勝義君） 会長が例えば言うたら……。

○委員長（原田素代君） 来れなかったら。

○委員（北川勝義君） 委員長が来れんと。そのためには副の保田副委員長がおられるんじ
ゃから、僕はええんじゃねえかなとちょっと今そう思うて、どうしてもだめじゃ言われりゃあ
あれじゃけど。

いや、僕、何でもこういうことを言わせてもらようというたら、ちょっとこれ議運で本当は
その他で言わせてもらおうと思うたんじゃけど、ちょっときょうは委員会とかがありますわ
な、定例じゃねえとき。ときには、僕は担当のよそのようけえの課長かな、ごろごろ出んで
も、ごろごろ言うたらちょっと失礼、削除してん。出んでもええと思うとんですよ。関係のあ
る人が出られりゃええんじゃけど、定例のときの議運とか、定例の議運はもちろん教育長、市
長は出てもらうようになつとりますわなあ。せえ、仮にきょうあつて、市長が東京へ行かん、
上京せにゃあおえんということができたり、議長もできとったら、これは公務じゃから……。

○委員長（原田素代君） そうですね。

○委員（北川勝義君） 副市長がおつたらええと僕は思うとんですよ。教育長も教育長の全
国、どうしても行かにゃあおえんというこつて、そしたら教育次長おられりゃええと思うたり
することもあるんで、突発的なことはええと思うとんじゃけど、原則として定例の委員会のと
きとかというのは皆、出てもらいますわなあ、こころがいっぱいになるぐれえ。じゃけ、
定例じゃねえときはええんじゃけど、ただこの間もちょっと聞いたりして、僕がもう声を荒立て
ることもねんじゃけど、僕らでは定例のときにはもちろんのこつちゃけど、定例でないときの
委員会ですわなあ、市長は来られようたと思うんじゃ、市長も教育長も。うちの関係は教育長じ
ゃけど、よそじゃつたら部長というんか、副市長も。せえで、もしそのときにどうしても都合
が悪い場合もあつたり、おくれたり所用で欠ける場合も多々あると思うんですわ。そのとき
には、委員会じゃつたら委員長にあらかじめちょっとおくれるとか途中退席させてもらうとい
うのはやりようと思うんじゃけど、この間聞いたら初めから市長出られてなかったというの
があつたんで、議運としてはまだそれは認めてねえと思うんじゃ、そういうことは。急遽出てい
くのはええんですよ。責めよんじゃのうて、今までのときも前へ、副議長もわかろう、議長、
前もそういう申し入れがあつたときがあつたでしょう、そういう話があつて。でも、それは一
応原則は、議運ではやってもらおうということでもうとんじゃから、やっぱりちょっと今
回そういなんがあつたらしいんで。

せえ、僕、あと内容はよう聞いてねえんじゃけど、差しさわりがなけりゃあ、これちょっと
話題がそれてしもうたけん委員長とめてくれようんじゃけど……。

○議長（小田百合子君） その他でやるようにしてますから……。

○委員（北川勝義君） あ、しとん。

○議長（小田百合子君） はい。

○委員（北川勝義君） あ、そりゃ済いません。ほんなら、もうよろしい。

○委員長（原田素代君） 表紙見てください。

その他の黒い丸ぼちが2つあるんですが、2つ目のところに議長、副議長のほうから提案をいただきますので……。

○委員（北川勝義君） これ諮っちゃおえん。わかりました、わかりました。

○委員長（原田素代君） 提案いただいてありがたいです。それをやります。

○委員（北川勝義君） いや、今のそういうことがあったんで、ちょっと今、僕、見てなかった、委員長、大変失礼しました。見てなかったんで、もしこの一端だけでよろしい。何の用途で行かれたんかだけちょっと説明してくれりゃあ。例えば、県庁へ行っったんじゃと、県知事とどうしてもとか、例えば国会議員と打ち合わせやったんじゃとかという、どんなかなあと思うて。ただ、僕に会いに来たんじゃというんじゃったら、そういうことはねえ、例えばといの、どんなかなとちょっと。

○委員長（原田素代君） それはじゃあその他で議長のほうからお願いしております。

そのほかで今の行事予定のところでもよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） じゃあ、続きまして協議事項第2番目、平成26年6月第2回赤磐市議会定例会の会期、日程及び議会運営についてお願いします。

○議会事務局長（富山義昭君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、局長。

○議会事務局長（富山義昭君） 議会事務局長、富山です。

○委員長（原田素代君） はい。

○議会事務局長（富山義昭君） 平成26年6月2日開催のこの議会運営委員会につきまして……。

○委員（北川勝義君） ちょっちょっちょっと委員長、ここ、これは説明せんもん。

○委員長（原田素代君） それはこの後に……。

○委員（北川勝義君） 行事予定表で。

○議会事務局長（富山義昭君） 行事予定につけるとのも見ていただくだけということですので、今、お手元の3枚目のところに6月行事予定表として議会報告会の班長会議、滝山ホテルまつり、老人大学の演芸発表会がお知らせとしてつけております。これは添付だけで、説明はしてありません。

○委員（北川勝義君） いや、そのことをちょっと聞きたかったんで。

○委員長（原田素代君） これについて。

○委員（北川勝義君） はい。

○委員長（原田素代君） じゃあ……。

○委員（北川勝義君） ちょっちょつと。

○議会事務局長（富山義昭君） どうぞ。

○委員長（原田素代君） 先にどうぞ。

○委員（北川勝義君） 済いません、委員長。僕、これ最初から見とったんじゃけど、今見て、滝山ホテルや老人大学はどねえでもええということはねえ、別に関心、ええんで。議会報告会班長会議というんがあるでしょう。これせつかくびちつとしたんができたんで、新聞で酷評もあったけど、それに基づいて僕も一般質問をしようと思うたんもしとるし、こういうこと出てきて、我々が気がつかないことがやっぱり市民のほうから気がついて出てきたんじゃから、僕は大変これ、委員長……。

○委員長（原田素代君） 座長です。

○委員（北川勝義君） 座長に大変申しわけねんじゃけど、これきょうのこの6月2日はえんじゃけど、何か班長会議というんか、委員会じゃあねえけど、ちょっと厳しい話ししょうんじゃけど、このびちつと、またすんかもしれんのんじゃけど、せられるんじゃったらえんじゃけど、取りまとめというんか、最後にちょつととして、中間でもやつとつてもろうたほうがええかなあと思うて。ただ、これでいうたら何か軽う考えたけん。

○委員長（原田素代君） いやあ……。

○委員（北川勝義君） そういう意味のことなんで。

○委員長（原田素代君） 後でまた触れますが、今おっしゃったように取りまとめの会議をきょうの全協の後に予定しておりますので、今、北川委員が御心配のように、きちつとした取りまとめをさせていただく会議をきょうの全協の後やります。

○委員（北川勝義君） せえ、それでええんじゃけど、僕が言いたかったんが、班長会議じゃのうて委員会のほうがええんかなあと思うて、びちつと。もう一遍はせられるわけ、きょう取りまとめてまた。

○委員長（原田素代君） いや、きょうの取りまとめで基本的には終わる予定ですが……。

○委員（北川勝義君） きょう終わるわけじゃろう。

○委員長（原田素代君） はい。

○委員（北川勝義君） じゃけ、というのは何か僕の言いたかったのは、みんなが関心持って皆、来られて、アンケートのあれを見たら、もっとようけえあつたほうがえかった、時間も欲しかったといろいろ出とったから……。

○委員長（原田素代君） いっぱい出していただいています。

○委員（北川勝義君） じゃあから、僕はこれが班長会議じゃのうて委員会のほうで何かびち

っとした、格式持ったほうで取りまとめたほうがええんかなと。

○委員長（原田素代君） はい、議長。

○議長（小田百合子君） この班長会議で、とりあえず議長に提出するものがこれでよろしいかっていうふうなことで取りまとめるわけです。その後、総合的なことで、例えば来年どうする、この次どうするかって……。

○委員（北川勝義君） ほんなら、もう一遍やるんじゃ。

○委員長（原田素代君） それはまた次の……。

○議長（小田百合子君） それはその次の特別委員会のほうでやってもらおうと思います。

○委員（北川勝義君） まとめてやるん。

○委員長（原田素代君） はい、はい、はい。

○委員（北川勝義君） いや、僕が言いたかったのは、これがこんだけの意見出てきてやっとなるから、せっかくやったのに、貴重な時間……。

○委員長（原田素代君） もちろん。

○委員（北川勝義君） 軽うというんじやのうて、班長会議が軽いかというんじやねえけど、委員会ではちょっとやっとなほうを示しとして、この今、委員長が言われた、先にこのまとめだけ今、議長に出すのをやっつくんじやと、せえから今度もう一遍やってやるんじやと、次……。

○委員長（原田素代君） そうですね。

○委員（北川勝義君） というのをちょっとやってほしかったというんが、報告のこの班長会議じゃたらぼっけえ出てこんですが。議会だよりの中へ、悪いけど、議会報告、委員会をやったんじやというのをびちっと出してもうときやあ……。

○委員長（原田素代君） もちろん。

○委員（北川勝義君） といったら、ほんならこれがみんなが、市民が割にこの間、言ように、見ようらんのかなあと思うて。あれを見ようたら、議会だよりで見ようけんあの報告やこうどねえでもええと怒られたというんか、僕らも言われたん。それよりはこう言うてくれえというたりすんが出たり、地元の人地元へ来てくれえとかというんがあったから、ちょっと今そねえなんがあったんで、ちょっとそういうなん、格式持ってやっていただきてえ言うたんで、よろしいです。

○委員長（原田素代君） そのようにさせていただくことで進めようと思っておりますので、御了解をお願いします。

○委員（北川勝義君） わかりました。済んません。

○委員長（原田素代君） そうしましたらじゃあ、会期日程について引き続き局長、お願いします。

○議会事務局長（富山義昭君） 平成26年6月第2回赤磐市議会定例会について、お手元資料

4枚目をごらんください。

平成26年6月第2回赤磐市議会定例会会期日程表案でございます。

本日のこの議会運営委員会において決定をいただきますが、まず日程第1日、6月9日月曜日午前10時から議会初日、本会議を議場で開会いたします。

会議録署名議員の指名につきましては、15番岡崎達義議員、16番下山哲司議員にお願いいたします。

会期の決定につきましては、6月9日から27日までの19日間でございます。

諸般の報告に続き議案の上程がございますが、この諸般の報告の中で山下議員を除く3人の議員さんの表彰を報告させていただきます。現職の議員さんのみ報告ということになりまして、山下議員の表彰につきましてはこの後の全員協議会のほうで報告をさせていただきたいと思っております。諸般の報告でございます。

議案の上程につきましては、このたびの議案は人事案件が1件、繰越計算書の報告が4件、専決処分の条例が2件、条例案件が10件、予算案件が2件、その他案件が3件の22議案でございます。

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてにつきましては、人事案件ですので、申し合わせ事項によりまして本会議場で直ちに質疑を行い、委員会付託、討論を省略して採決の予定でございます。

次は、平成25年度赤磐市一般会計予算繰越明許費繰越計算書についてから水道事業会計予算までの4件につきまして、これは繰越計算書の報告でございます。

次の専決について承認を求めるものでございますが、税条例と国民健康保険税条例の一部改正、これは専決処分を行っております。その専決についての承認を求めるものでございます。これらの議案につきましては本会議場で直ちに質疑を行った後、委員会付託を省略して討論、採決を行う予定でございます。

次から委員会付託でございます。

まず、新市建設計画の変更についてと中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例から赤磐市吉井B&G海洋センター条例の一部を改正する条例まで、これと赤磐市火災予防条例の一部を改正する条例、これらは総務文教常任委員会へ付託いたします。

赤磐市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の締結についてにつきましては、産業建設常任委員会へ付託いたします。

赤磐市乳幼児等医療費給付に関する条例の一部を改正する条例から赤磐市中心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例までと赤磐市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例から柵原吉井特別養護老人ホーム組合規約の変更についてまでと、それから平成26年度赤磐市訪問介護ステーション事業特別会計補正予算（第1号）、これは厚生常任委員会へ付託いたしま

す。

平成26年度赤磐市一般会計補正予算（第1号）につきましては、それぞれの常任委員会へ付託いたします。

以上が市長から提案されます議案22件であります。

なお、当日、6月9日は質疑通告の受け付け開始でございます。

続きまして、10日火曜日は休会、予備日です。

11日水曜日は午前10時から本会議、一般質問でございます。

なお、質疑通告の締め切りはこの日の17時となっております。

12日木曜日引き続き午前10時から本会議、一般質問の2日目でございます。

別添にあります一般質問通告表をごらんいただきたいと思いますが、一般質問は15名の方から出ております。これにつきましては、質問者の割り振りをこの後、御協議いただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

日程表に戻っていただきまして、13日金曜日はその一般質問の予備日ということでございます。

14日、15日は休会、16日月曜日は午前10時から本会議、質疑でございます。質疑終了後、議案の委員会付託を行います。請願につきましても、上程後、委員会付託を予定しております。

こちらにも別添にあります請願陳情文書表をごらんいただきたいと思いますが、請願3件が提出されております。

まず、請願につきまして、請願第3号ですが、4月16日に持参されました。件名は、日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める請願です。請願者は、岡山市北区西島田町4-25、原水爆禁止岡山県協議会代表理事、中尾元重様です。紹介議員は福木京子議員で、付託委員会は総務文教常任委員会となります。

続きまして、請願第4号ですが、5月26日に持参されました。件名は、集団的自衛権の行使容認に反対の意見書提出を求める請願でございます。請願者は、赤磐市桜が丘東4-4-176、赤磐市九条の会代表、渡辺康夫様です。紹介議員は福木京子議員で、付託委員会は総務文教常任委員会でございます。

続きまして、請願第5号ですが、5月28日に持参されました。件名は、食料自給率の向上を最優先した「農政改革」を求める請願です。請願者は、岡山市南区曾根894、岡山県農民運動連合会会長、倉地重夫様です。紹介議員は福木京子議員で、付託委員会は産業建設常任委員会でございます。

なお、陳情はございません。

日程表に戻っていただきまして、6月17日、休会、予備日でございます。

翌18日から各委員会が開催されます。18日水曜日午前10時から厚生常任委員会、19日木曜日午前10時から産業建設常任委員会、20日金曜日午前10時から総務文教常任委員会でございます。

す。この20日は討論通告の受け付け開始でございます。

21日土曜日から26日木曜日までの6日間は休会です。

なお、23日月曜日は予備日、26日木曜日は休会でございますが、17時が討論通告の締め切りでございます。

6月27日金曜日午前10時から本会議、最終日でございます。委員長報告、質疑、討論、採決を行います。

なお、先ほどの請願が採択された場合には意見書等の発議をお願いいたします。

最後に、委員会の閉会中の継続調査及び審査について議長から発議を行いまして、6月議会の日程が終了の予定でございます。

以上が議事日程でございます。よろしくをお願いいたします。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

○議長（小田百合子君） ちょっと読み違いがあったから……。

○委員長（原田素代君） どこでしょうか。

○議会事務局長（富山義昭君） 失礼しました。

○議長（小田百合子君） 6月9日の最後、「訪問看護ステーション」を……。

○委員長（原田素代君） ああ、介護。

○議長（小田百合子君） 「訪問介護ステーション」って言われたから訂正しとかなないと、議事録に。

○議会事務局長（富山義昭君） 失礼しました。

○委員長（原田素代君） はい。

○議会事務局長（富山義昭君） 申しわけございません。私のほうで読み間違いをいたしました。

○委員（福木京子君） もう一つ。

○委員長（原田素代君） はい、福木委員。

○委員（福木京子君） いや、文書はええんですよ。1つちょっと請願のところ、「赤磐市九条の会」言うんですけど、「赤磐九条の会」なんです。そこだけちょっと訂正しとってください。

○委員長（原田素代君） 2点確認してください。

○議会事務局長（富山義昭君） 申しわけございません。先ほど申しあげました日程第1日の中で、厚生常任委員会に付託します条例の関係、赤磐市訪問看護ステーション設置条例……。

○委員長（原田素代君） いや、補正予算。

○議会事務局長（富山義昭君） ああ、ごめんなさい。その次の平成26年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計補正（第1号）を私が誤って読み間違いをいたしました。申しわけございません。

それと、御指摘のありました請願第4号に関しまして、集団的自衛権の行使容認に反対の意見書提出を求める請願をされましたのは、赤磐九条の会でございます。代表、渡辺康夫様でございます。大変失礼いたしました。おわびして訂正いたします。

○委員長（原田素代君） じゃあ、皆さん確認してください。

ほかに会期日程についてございますか、御質疑は。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） じゃあ、なければ、続いて協議事項の3番目の一般質問について事務局長から説明願います。

○議会事務局長（富山義昭君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、局長。

○議会事務局長（富山義昭君） 先ほどの日程の中でも御報告いたしましたが、一般質問につきましては6月11日、12日、そして予備日が13日となっております。一般質問につきましては、その別冊にございますように15人の議員さんから出ております。この15人の議員さんを一般質問、予定では2日間ということでございます。また、申し合わせ等でも人数につきましては上限を決めておりますので、15人を8人と7人、あるいは7人と8人という分け方が基本になろうかと思いますが、それも踏まえて御決定をいただければと思いますので、よろしくお願いたします。

○委員長（原田素代君） 通告表見ていただいて、2日間に分けて8か7、7か8で分けたいと思いますが。

○委員（北川勝義君） 15も……。

○委員長（原田素代君） 前回も15だったですよ。

○委員（北川勝義君） 15……。一緒……。

○委員長（原田素代君） はい、いきました。だから、16がマックスだねって言ってたんですけど、山下さんがいなくなったから、今は15がマックスになります。だから、7、8にするか8、7にするか、どうされましようか。8、7。

○委員（松田 勲君） 8、7で。

○委員（北川勝義君） いや、7、8か。

○委員（松田 勲君） 8、7じゃ。7でしょ。7、8か。

○委員長（原田素代君） そう大きな差はないと思いますが、2日目に余裕を持つか。どうしましようか。

○委員（北川勝義君） 保田さん、言うてみられえ。

○委員長（原田素代君） 同数ならどっちでもいい。

○副委員長（保田 守君） どっちでも……。

○委員（北川勝義君） いや、あんたが言われえ。あんたか福木さんが言われえ。

- 委員（福木京子君） 私は別ですけど。
- 委員長（原田素代君） ああ、そうか。
- 委員（北川勝義君） じゃけえ、あんたが言うたらあれじゃけ、そういう意味で気使うてあげたわけ、委員長。
- 委員長（原田素代君） ああ、そうか、ごめん。
- 委員（北川勝義君） そういうこと。
- 委員長（原田素代君） 私、何で保田さんに振るのかなと思って。8番目……。
- 委員（北川勝義君） いや、保田さん……。
- 委員（松田 勲君） 最後になるから……。
- 委員（北川勝義君） 保田さん、じゃけ次の日ええんじゃねえん。
- 委員長（原田素代君） 御意向を。
- 副委員長（保田 守君） せえでも、次の日が私としては。
- 委員（松田 勲君） 1番でやりゃええんじゃねえん。
- 副議長（岡崎達義君） ほんなら、7、8じゃ。
- 委員（松田 勲君） 7、8。
- 委員（北川勝義君） 僕は敬意を最後の人にちょっと、8番目の後に、保田さんが8番目じゃから、委員長、そういう意味のことを言ようるだけで。
- 委員長（原田素代君） 済いません、気がつきませんでした。
- 委員（北川勝義君） 他意はねえんで、他意はねえんで。
- 委員長（原田素代君） いや、皆さんいいですか、じゃあ7、8で。前半7人、後半8人で。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 委員長（原田素代君） 前回並みなので……。
- 委員（北川勝義君） 前回は何時じゃったかな。
- 委員長（原田素代君） 15です。
- 委員（北川勝義君） 8人のとき何時じゃったかな。
- 委員（松田 勲君） 8、7じゃった。
- 副委員長（保田 守君） それでも、7時。
- 委員長（原田素代君） いや、7時までいってないと思います。
- 委員（北川勝義君） かかってなかった。6時過ぎぐらい、二、三十分に終わったなあ、1日目に。
- 委員長（原田素代君） そうそうそう。そのぐらいだったと思います。
- 委員（北川勝義君） じゃあ、そのけえで終わるんじゃったら……。
- 委員長（原田素代君） 7時前に終わりました。

○委員（北川勝義君） 3日にするよりは、執行部が3日にくれえというて言やあ3日にしてあげりやあええかなあ。

○委員（松田 勲君） 次の人が。

○委員長（原田素代君） そうしましたらじゃあ、前半7人、後半8人でスケジュールを入れていただくようお願いいたします。

それでは、ほかにこの一般質問についてよろしいですか。じゃあ……。

○委員（北川勝義君） ちょっとお願いがあります。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） このその他にも出てきとんですけど、一般質問を出して、これちょっとそれとは違うんですけど、出します。きょう、初日として出しました。せえで、1週間とありますわな、日にちが。あるんじゃけど、その間、ちょっと直そうとかといんがあらましよう。

○委員長（原田素代君） そうですねえ。

○委員（北川勝義君） あと、本人が。例えば、僕じゃったら僕が直したり、これ取り下げるというていうたりするんもあったりして、後から出そうというたり。その中に例えば僕を見たら、例えば備作高校はもうええ、これ片が今しょうる間についたけん、これは取り下げらあというのはええわなあ、簡単な話で。せえ、最後に出したはええんじゃけど、その会期中じゃねえとおえんのんじゃけど、期日内のあれで訂正が、一番下の学校施設の整備についてを入れてねえとしよう、僕が。これは大事なから言わにやあおえんとなって入れるというのがどこまでができるんかなあというのをちょっちょつと教えてもらやあええかなあと思うたん。

○委員長（原田素代君） 局長。

○委員（北川勝義君） 省くのは簡単でしょ。

○委員長（原田素代君） そうですねえ。

○委員（北川勝義君） 省くのはカットで……。

○委員長（原田素代君） 前例はよくあります。

○委員（松田 勲君） 省くのはええわ。

○委員（北川勝義君） 省くのは。

○委員（松田 勲君） 追加はあれじゃなあ。

○委員（北川勝義君） 追加がじゃけ今そう思うたん。

○委員（松田 勲君） 前、僕、追加したときには最後に回したけど。

○委員（北川勝義君） 最後に回すんじゃけど……。

○委員（松田 勲君） 最後というんか……。

○委員長（原田素代君） だから、提出締め切りの中であれば、追加があっても問題はないわけですよ。

- 委員（松田 勲君） 別に問題ない。
- 委員（北川勝義君） ほんなら、きょうで1週間後じゃったら、その間にあるんじゃったら構わんというとり方。
- 委員長（原田素代君） そういう……。
- 委員（松田 勲君） ただ……。
- 委員長（原田素代君） と思うんですけど、ちょっとそれを……。
- 委員（松田 勲君） 順番……。
- 委員（北川勝義君） 僕は余りぼっけえ出たらいけんのんかなあと思うて、ちょっと今。
- 委員長（原田素代君） 局長でいい。
- 議会事務局長（富山義昭君） はい。
- 委員長（原田素代君） じゃあ、局長。
- 議会事務局長（富山義昭君） 事務局としましては、取り下げはもちろん別としまして、軽微な、文言が多少というのはいいんですが、ここにあります例えば発言事項が新たに加わるということになりますと事務局では判断できませんので……。
- 委員（北川勝義君） そうじゃな、そこの分じゃ。
- 議会事務局長（富山義昭君） それは議運等でやはり一旦取り下げて改めて出すとか、あるいは例えば……。
- 議長（小田百合子君） だめよ、どっちもできない。
- 議会事務局長（富山義昭君） という……。
- 委員長（原田素代君） 違う違う。期限内の話。
- 委員（北川勝義君） ちよつちよつと委員長、ええ。
- 議長（小田百合子君） だから、期限内っていうのはきょうまでやから。
- 委員長（原田素代君） だから……。
- 議会事務局長（富山義昭君） いや、その期限内での話で。
- 委員（北川勝義君） きょうじゃのうて、きょうじゃねえ。委員長、ええ。
- 委員長（原田素代君） 北川委員、ちよつともう一度。
- 委員（北川勝義君） 僕が言わんとしたのはこういうことを言ようるわけ。正式な言うたほうがええなあ、前の。

5月の一般質問が5月15日から、違う、失礼、一般質問どこなあ。

- 委員（松田 勲君） 22日じゃ。
- 委員（北川勝義君） 5月22日から提出で29日までというこっちゃったんで……。
- 委員長（原田素代君） そうです。
- 委員（北川勝義君） せえ、22日にもし僕が出しましたと。しかし、要らんのはこのまま上げとつてもえんじゃけど、その当日になって質疑のとき、この備作高校跡地利用については片

がつきましたので結構です、取り下げますとか多いからというのをできるんじゃないけど、もしこれ追加が、学校施設というのは今、一番最後あるけん、あ、これは中学校プールが気がつかないんだんがあったと。せえ、28日までとか27日までに気がついたと、29にまでに。これ入れれるかということで、僕は前のときは……。

○委員長（原田素代君） それを聞いてるんですね。

○委員（北川勝義君） はい。せえ、前のときは、たしか金谷委員と、それから松田さん、松田委員と澤議員と僕とか4人おるが、一般質問を1番に出しとって、僕が追加してえんがあるんで、やってくれりゃあええから、1番に出したんじゃないけど、それに出したんじゃないけど取り下げて、僕が一番最後のときにつけ加えて出したんですよ。じゃけ、そういうやり方したんじゃないけど、そうするんが当たり前か、それともこん中へ学校施設の整備だけ1個入れれるんがええんかというのを、ちょっと今そう思うて。

○委員長（原田素代君） いや、北川委員、だからそれは一般質問締め切り……。

○委員（北川勝義君） まで、前のこと。

○委員長（原田素代君） 前の話ですね。

○委員（松田 勲君） 期間中の話。

○委員（北川勝義君） 期間中の話。

○委員長（原田素代君） 期間中。そういうことです。

もう一度、局長のほうから。

○委員（北川勝義君） これが入れたらおかしいかなあと思うて。

○議会事務局長（富山義昭君） その点に絞って申し上げますと、新たな項目が入ってくるということについては事務局は判断はちょっと困りますので、こういう場で決めておいていただいたほうがありがたいと思います。先ほど言われたように、新たな項目があるということで一旦取り下げて、締め切りまでに新たに出されたというのは例にございますが、一度、言い方悪いんですが、順番をとっておいて、後からどんでもなくて項目が入るとするのは余りよろしくないのかなあとと思いますが、それは事務局のほうではなくてこの場で皆さんで決めていただいておいたほうがありがたいです。

○委員長（原田素代君） いや、だからもう一度整理しますが、北川委員が期間の初日に出したものの中で、後でまた1週間のうちの中で追加したいものがあったら追加はできるというふうに理解していいかって聞いてるんです。

○委員（北川勝義君） ちゃうちゃう。

○委員（松田 勲君） だから、基本的には追加はええけど……。

○委員長（原田素代君） それはいいんですねってということです。

○委員（金谷文則君） できるけど……。

○委員（北川勝義君） 違う、違う違う。

○議会事務局長（富山義昭君） 追加はできますが、それを順番が変わるか変わらないかが問題になってきます。

○委員長（原田素代君） そうですか。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 項目がふえることだけでもね。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕が言いたかったのは、委員長、今、答え出たんじゃけど、22日に出したとき、もし1番でも2番でも出しとったと、何番目でもええ、出しとった。しかし、つけ加えたいんが出たと、会期中、その日にちのうちに。

○委員長（原田素代君） 締め切りの中で。

○委員（北川勝義君） 締め切りまでに。そのときに、僕は前の原則で言うたら、そのとき締め切りする前にその落としたのがあったから取り下げるといって、僕のは取り下げてくださいということで、追加で自分でつけ加えて出し直ししたんですよ。それが今しようたんじゃけど、結果、それをしたら忘れりゃあへなんだんじゃけど、ひょっと忘れる場合があつて、1日してこれは一般質問できんぞというたりすんがあつたっていう可能性なきにしも、葬儀とかあつたらある場合があります。じゃけ、そういうときに1個ぐらいええんかな、どんなん、ここで議運、今、委員長に……。

○委員長（原田素代君） そうですね。

○委員（北川勝義君） ここで言ようんで、委員長、今、事務局が言うたように局長がうちじや判断できん、局長どねえならというてちょっと僕ちよろっと聞いたときは、私じゃ判断できん言ようて、議長も勝手に議長がせえとは言えれまあし、この議運でそこぐれえ何か取り決め、詳しゅうちょっとしとってもらいてえなあと思うて。

○委員長（原田素代君） そうですね。今の。

はい、副議長。

○副議長（岡崎達義君） やっぱり新たに項目を加える場合は、北川委員が前にされたように一旦取り下げて新たに提出するっていうのが一番すっきりした……。

○委員長（原田素代君） 出し直す、そうですね。

○委員（北川勝義君） 発言の趣旨ぐれえはちいたあ……。

○副議長（岡崎達義君） そうです、そうです。

○委員（北川勝義君） 数字とかが違うた場合があるが。25年に書かにはあおえんのを27年とか書いたり、そねえなんは直して……。

○委員長（原田素代君） 直せます。

○委員（松田 勲君） だから、項目はやっぱり……。

- 副議長（岡崎達義君） だから、そういうふうを決めときましょうや。
- 委員（北川勝義君） いや、それだけちょっと確認したかったんじゃ。
- 委員長（原田素代君） じゃあ、要するに期間内であれば、出し直しさえすれば追加は可能だと。
- 委員（福木京子君） 順番が変わるということですね。
- 委員（北川勝義君） そうそうそう。
- 委員長（原田素代君） 当然。
- 委員（松田 勲君） 取り下げて新たに出すと、期間中に。
- 委員長（原田素代君） 出すということですね、期間中だったら可能だという。
- 委員（松田 勲君） 取り下げは……。
- 委員（北川勝義君） 期間中が結論を、やめるけど、委員長、言いたかったのが……。
- 委員長（原田素代君） はい。
- 委員（北川勝義君） 期間が長えけえ、いろいろ出しとって考える……。
- 委員長（原田素代君） 変わりますよね。
- 委員（北川勝義君） 期間が3日ぐれえじゃったら、考えんでぴゃぴゃぴゃと書いときゃあいけるんじゃけど、こんなことねえと思うんじゃけど、今で梅雨になってこの時期のときに、だつと災害でも来たと。来ちゃおえんけど、来たとか氾濫があったとき、ほんならそのことは一般で何か言いてえけんという、今そういうちょっと思うたんですよ。
- 委員長（原田素代君） わかりました。
- じゃあもう一度、確認しますが、期間内であれば、一度出したものに追加項目が生じた場合は一度取り下げて、期間内にもう一度出し直すと、それでしたら追加は可能だという確認をさせていただきます。
- これについても一応全協で、議長、報告していただいたほうがいいと思うので、お願いいたします。
- 副委員長（保田 守君） ただし、順番は後から。
- 委員長（原田素代君） ですから、出し直すから順番は変わります。
- 委員（北川勝義君） そりゃ取り下げにゃあいけん。取り下げせにゃあいけん。
- 副委員長（保田 守君） もちろん、一番後。
- 委員（北川勝義君） 保田さん、会期中じゃったらこれ8番なるところと最後の……。1番にやるんと……。
- 委員（松田 勲君） 変わらんと思ったら……。
- 委員長（原田素代君） ただとにかく、締め切り内の話ですから、もう締め切りが過ぎたらどうしようもありません。
- 議会事務局長（富山義昭君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、はい、局長。

○議会事務局長（富山義昭君） その件に確認ですが、つけ加える場合は取り下げるんですが、幾つかある項目を削る場合は……。

○委員長（原田素代君） そのままでいい。

○議会事務局長（富山義昭君） 順番は関係なしにそのままでいいということによろしいですね。

○委員長（原田素代君） はい。そういうことは過去にも例があったと思います。

○委員（北川勝義君） 今までどおりでええんじやろ。

○委員長（原田素代君） はい。

○委員（北川勝義君） 関係者がようけえおるから……。

○委員長（原田素代君） いろんな事情で、同じような重複する答弁とかあったと思いますので。

○委員（北川勝義君） 調整すりゃあええという。

○委員長（原田素代君） はい。

○議会事務局長（富山義昭君） わかりました。

○委員長（原田素代君） じゃあ、それを全協のほうでお願いします。

今回の一般質問については、じゃあそれでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） そうしましたら4番目ですが、協議事項の、委員さんのほうからまたは執行部のほうから何か御意見ありましたらお願いします、この場で。

執行部はないですか。ありません。

委員の皆さんのほうからは。

さっきも申し上げましたように、議長のほうからちょっと提案の準備もございますので、その他のところで議長のほうからお願いいたします。

○議長（小田百合子君） 先ほどから、あ、済いません、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、議長。

○議長（小田百合子君） 先ほどからいろいろと話が始まっておりますが、私がきょう提案して全協で報告したいのは、今言われてた一般質問の受け付け日数と順番についてという、そういう題をここに載せておりますけれども、受け付け日数という要するに今、1週間もあって、その間ならっていうけども、その間は真ん中で全然出てこないんですよ。ですから、初日と最終日に集中する形であって1週間もあるから、最後の最後にならないと何人かもわからないというふうな、要するにこの期間をできたら短くするということでの協議をお願いしたいんです。大体少しは皆さんからの意見も出ておりますけれども、やはり議会運営ですから、この委員会できちっとそれを申し合わせにするように決めていただきたいと思います。

- 委員長（原田素代君） 受け付け日数のことと順番……。
- 議長（小田百合子君） 受け付け日数を今、1週間なのを……。
- 委員長（原田素代君） を短く……。
- 議長（小田百合子君） 5日にするとか4日にするとか、そういうことなんです。
- 委員長（原田素代君） 順番っていうのはどうされますか。受け付け順ですねえ、これ。
- 議長（小田百合子君） 順番を、これはきょうの課題じゃなくて、例えばみんなくじにするとか、うんと短くするんだったらくじにしたほうがいいという意見も過去にありまして、一気にきょうは決められないと思いますけども、それもその後考えるっていうことを含んで、受け付け日数をとりあえずは短くする方向で協議してもらいたいです。
- 委員長（原田素代君） 議長のほうから一般質問の受け付け日数、今の1週間を中日が実際ほとんど提出がないのもうちょっと短くしたらどうかという御意見ですが、御提案ですが。
- 委員（福木京子君） 委員長。
- 委員長（原田素代君） はい、福木委員。
- 委員（福木京子君） 現実はそのようなんあるんでしょうけど、私は1週間、この日数はとっていただきたいと、市民や議員の立場から。その日数を少なくするというのは、やっぱり事務局やそういう立場からの発想になると思うんですよ。だから、できるだけそら早く。以前はそれでも早く出された方やいろいろあったんでしょ。最近はあれですか、最終の二、三日ぐらいでだあっと出されるんですか。ちょっと……。
- 議長（小田百合子君） 最終日に10人固まったこともあります、最近ですけども。となると、答弁書の準備すらできないというふうな、事務局だけの問題じゃないんですよ。これはやっぱり……。
- 委員（福木京子君） いやいや、それは……。
- 議長（小田百合子君） ちゃんとした答弁を得るために早目に出しておいて、執行部に食い違わないようなしっかりした答弁をしてもらおうっていう、それにもつながると思うんです。
- 委員（福木京子君） いい。
- 委員長（原田素代君） はい、福木委員。
- 委員（福木京子君） それは日数の問題じゃないんじゃないんですか。日数の問題じゃないんじゃないんですか。その3日に集めなくても。じゃから、ある程度、1日で集中せずに、できるだけ議員自身が早目にそしたら出していただきたいということになるん。日数の問題じゃないですよ、そりゃ、その問題は。
- 議長（小田百合子君） それが、なかなかやっていただけないものですから。
- 委員（北川勝義君） ちょっとよろしい。
- 委員（福木京子君） 一人一人の議員の問題でしょ。
- 委員（北川勝義君） ちょっちょっと。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 確認すんじゃないけど、例えば今回じゃったら22日が初日で29日が締め切り日で、そしたらこれ29日に執行部へ出すんでしょ、議会事務局が。1番が来たけん、はい、2番が来たけんびびびび出していくんじゃないやろ、固めて出すんじゃないやろ、原則。

○議会事務局長（富山義昭君） 基本的にはそうです。

○委員（北川勝義君） 基本的にそうじゃろ。じゃったら、今の言ようことは最後に集中しようとして最初の日に集中しようとして結論は同じこっちゃと。

せえ、僕はどっちでも従うんじゃないけど、口とかというんじやのうて従うんじゃないけど、順番ではこの間も順番のことはいろいろやりようたんじやけど、今のままでいきやあええじゃねえかという話になったんで従うんじゃないけど、日数についても決まったことには従いますけど、たまたま言うたんが、僕、痛しかゆして1週間持つときやええ場合もあるんじゃないけど、1週間も持つんじゃったら執行部のほうがもうちょっと早う答えが欲しいんですよ。初日のあの日の議場で配つとるでしょう。議場で配つとるがん。ああいうこっちゃのうて、もっと早うもらやあ。やっぱり例えば、いや、岡崎副議長はせんけど、したら、ちょっと関心のあるのは、ちょっと副議長、その回答は何、聞きてえわけ。僕が質問すんじやのうて、関心があるから。というのが、コピーでも焼いてもうときや、それ見させてもうて読みようりやようわかるんがわからんので……。

○副議長（岡崎達義君） 調整したい。

○委員（北川勝義君） そうそう。そねえなんがあるんで、執行部のほうは余り出すのはいつまで出そうと、例えば今言うたら5月22日が5月25日までと、2日でもええ、3日間としたとこで、くれるのは初日のときしかくれんけん、ずうっと空白がありますがん。短うすんじやたらもっと早うくれにゃあおえんし。わかりますかな、言ようこと。ちょう今そらのことが私が。僕は今ここの中でいうたら、言い方は悪いですけど、あと議長の任期というたら2年間じゃからちょっとある。せえ、今ここで6月にばたばたばたまた動いて、いろいろ考え方もあると思うんで、議長も考えて言われようと思よんじやけど、これをちょっとひとつたき上げぐれえでしてもうとって、きょうのときに言うて全協でこうしましようというのはちょっとあれかなあと思うて。僕は別にどっちでもええ、従うんですよ。はっきり言うて従うんじゃないけど、今、福木さんの言ようような考え、じっくり入れてえというんと急遽ほかに入ってくることもあるというんと、それから短うしたら答弁書が早う返ってくるんじやたら僕はええと思う。答弁書も結果、同じことになるんじやたら、せえから出しようんのもこの事務局長が言うた原則として最終日に執行部へ出すというんが原則じゃあから、それじゃたらそう何ら変わらんのんじゃないやあかなあと思うんで……。

○委員（松田 勲君） 答弁書配付になったのは、いやあ、その日になったんじゃないやろ……。

○委員（北川勝義君） そうそう。

○委員（松田 勲君） だって、前は最初にもらうたけど……。

○委員（北川勝義君） いや、それちゃう。それをしたら、一般質問の最初の人が答えのどこから聞く人がおるけんとなんかになるからというのいろいろあったり、それはあるんじゃないけど、いろいろのことがあるんじゃないけど、ことしときは、今年度というのはもうちょい、この6月の議運でやっしまうんじゃないのうて、ちょっと検討をしてみたらどんなんじゃないろうか。僕の意見は、どっちでも僕は従います。従うんじゃないけど。

せえから、くじとかじゃのうて、やっぱり出してやるのはやり方があるんで、順番は今までどおりやってもらやあええと思うとんと、へえから時間も何か、これが同じ山陽のここじゃったら1カ所ここへ持ってくるというんが原則でええんじゃないけど、やっぱり吉井とか赤坂とか離れとるとこはそういう送ってもらいてえというたり、せえ会議がこのところ、5月のときの会議はばたばたばた急によい決まってあったんですよ。じゃけ、こっち、山陽の人でも吉井へ来て会議をしょうる場合があつて出せれんというのがあつたりすんで、やっぱりそこらはちょっとあれで、日には今はもうちょい検討して、福木さんの味方しょうんじゃねんじゃないけど、1週間がええかどうかわからん。その日にちは1週間が5日にすべきかというのはわからんじゃないけど、3日というたらちょっとばたばたばたばた何かせわしいんで、ちょうど1週間かなあ、22からというたら。

○委員長（原田素代君） 丸々1週間。

○委員（北川勝義君） 丸々1週間かなあ。

○委員長（原田素代君） はい。木曜から木曜まで。

○委員（北川勝義君） へえで、もし執行部のほう、いろいろのこの議運の中でお話をしとつて、前のような申し合わせがあつたように答弁書から質問するんじゃないのうて、1回目を、というのだけ徹底してもうとつたら、答弁書を先にくれるんじゃないつたら、僕は日にちは少々、どっちでもええんですけど、短うなつても。どうも、2日じゃ3日にせえというのはちょっと反対んじゃないけど、4日ぐれえじゃつたらええとは思うんですけど、僕の考えで、どちらでも従います。

○委員長（原田素代君） いろいろ御意見があるようなんですけど、どうでしょう。皆さんそれぞれに御意見をここで出していただいて、北川委員がおっしゃるように結論はここで出すことも特別目的としてないので、一応議運でこういう審議をしてるということをお伝えしたいので、皆さんのほうから率直に御意見を言っていた方がいいかなあと、それぞれ。

○委員（松田 勲君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、松田委員。

○委員（北川勝義君） 前もそうじゃつたら、前に言ようたのは。おえんわ、あれ。

○委員（松田 勲君） さっき北川委員言われたけど、前の経緯からいうたらやっぱり初日に出すのは、その前に一回もらいよつたですよ、答弁書を。そしたら、最初の質問からその答

弁書に対しての突っ込みの質問になってきたりとかしておかしなことになってきたんで、当日の朝渡すということになったと思うんです。そういう経緯があるんで、それまた多分、繰り返すんじゃないかなという気がするんで。

ただ、正直、僕は大体初日に近いほうに出しよんですけど、今回も最終日にぼんと来たように、でも人間って締め切りが決まればそのようになると思うんですよ。へえで、質問するのは年に4回、議会があるのはわかっとなんじゃし、へえで次に何の質問しようかというのを急に決めるわけじゃなくって、ある程度皆、日ごろの中で考えてらっしゃると思うんですよ。それをすぐ書くか書かんかの話だと思うんです。だから、なるべく、1週間なくても僕はいいんじゃないかなと。3日か5日かぐらいでいいんじゃないかと。5日ぐらいでもいいんじゃないかなと。その分もうちょっと執行部にしっかりと検討してもらう時間を与えてもらって、しっかりした回答をいただけるほうがいいんじゃないかなあと僕は思います。

○委員長（原田素代君） わかりました。

○委員（北川勝義君） 結果、土日が入るんじゃないやろう。

○委員（松田 勲君） 土日……。

○委員長（原田素代君） もちろん、1週間だから。

○委員（北川勝義君） 土日が入るんじゃないけん。

○委員長（原田素代君） ほかの、どうでしょう。

○委員（金谷文則君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、金谷委員。

○委員（金谷文則君） 私は1週間で何の問題もないなあと思います。というのは、さっき松田委員もおっしゃられましたけど、出す人はそれなりに出すわけであって、集中したからどうのってというのは、答弁をつくって出すのは執行部であって、執行部が今までのとおりで問題ないんであれば何ら差し支えはないのかなあということと、それから1週間ってというのは多分やっぱり人間様、体の都合もあったりいろんな行事の都合があって、3日、4日って限られたときに提出するのがそれぞれの支所とか、それからこの議会事務局へ持ってこなきゃいけないということがあるから1週間のインターバルがあるんじゃないかなと私は理解してるんです。短くていいんなら、僕はウェブでそのまま送って受け付けていただければ1日で十分な話であって、何ら問題ないというふうに思っております。

以上です。

○委員（北川勝義君） ちょっちょつとええ。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 今見ようたら、22から29じゃけん、8日間あるんですよ。1週間じゃのうて8日間じゃったんじゃ。8日間あって、その中へ土日が2日入るんで、土日はもうこれは何ぼしとうても提出できん、事務局が休みじゃけん受けれんというて。実質は、今言うたら

8日間ありゃあ6日間ということになるんで。せえ、何でもこういう言い方しようというたらおかしいじゃけど、土日が入るんで、1日だけへつっても、これも練習成果でおえなんだからまた戻しゃあええとして、ここで議長も言われようことのいろいろ、僕らもあるんで、1日ぐれえ減して5日ぐれえにしたらどねえなんかな。5日間すりゃあ、土日は当然受けんのんじゃから、7日間しとつても1日短うしたことになるけん、土日は受けんのんじゃけ、結論のときはいつも土日入るから、どっかで。

○委員長（原田素代君）　じゃあ、土日を入れないで5日間ってこと。

○委員（北川勝義君）　そう。入れたら7日間じゃから1日減すという。それじゃったら、別にそう支障にならんのかなあとは。せえ、やってみようて……。

○委員長（原田素代君）　そういう意見ですね。

○委員（北川勝義君）　2回ほどやってみたら、4日でもええんじゃねえかという話になりゃあ……。

○委員長（原田素代君）　どうします、御意見言いますか。

○委員（北川勝義君）　せえで、あれをできたら、あれは出せれんと思うんじゃ。今言うた、松田さん、僕の言うたのを、持つとる人はええけど、使ようる人は、ウェブで……。

○委員（松田 勲君）　ウェブ。

○委員（北川勝義君）　金谷さんがやられるようなことはええけど、できん人もおられるし。

○委員（松田 勲君）　いや、判こを押さにかいけんやろ、基本的には。

○委員（北川勝義君）　じゃから……。

○委員長（原田素代君）　だから、それはもちろんそれをやるんなら……。

○委員（北川勝義君）　じゃけん、じゃけ……。

○委員（金谷文則君）　そこまで含めてね。

○委員（北川勝義君）　じゃけ、そういうこと、いや、ちょっと……。

○委員長（原田素代君）　見直せと。

○委員（北川勝義君）　ちょっちょつと、そういうこともあるし、それから今言ようる1日じゃったらおえんが、取り下げて追加しようというたりするときはできんがなということさっき言ようるわけじゃ。せえで……。

○委員長（原田素代君）　ちょっちょつと時間もそろそろあれなんで、もう一人……。

○委員（北川勝義君）　せえで、じゃけちょっと待って。

○委員長（原田素代君）　え、まだ、はい。

○委員（北川勝義君）　今言ようたのに途中入るけん。それで、したら土日を入れときゃあ7日間なるんで、1週間ぐれえじゃったら今言うたら8日なんじゃ。僕、1週間と思ようたんじゃ。8日になるんで、7日間になったら土日じゃあから、1日したらええんじゃねえかなあ。いつまでたつても土日入るんで、いつも。1日ぐれえ……。

- 委員（松田 勲君） それは土日入れて7日やね。
- 委員（北川勝義君） そう。土日入れて7日じゃったら、1日でも短縮できた、8日あるから。
- 委員長（原田素代君） そういうふうに理解したらいいわけですね。
- 委員（北川勝義君） 8日じゃけん、1日減したら格好がええんじゃねえかなあと思うんじやけど、議会改革も。
- 委員長（原田素代君） わかりました。
- はい、じゃあ副委員長のほうから。
- 副委員長（保田 守君） 私のほうは、最後がどうしても人間というのは締め切りで決まったらそれに合わせてしまうというパターンになるんで、私の場合じゃったら締め切りが始まったときがスタートみたいな感じで……。
- とりあえず、締め切りが始まったらスタートで、1週間あるからその中でちょっといろいろ、今言う後からの追加もあるから、それは余裕が少しはなからにゃおえんと思うし、多分今、北川さん言われたように、土日があるということからいうたら……。
- 委員（北川勝義君） 1日くらいええじゃろ。
- 副委員長（保田 守君） うん。それは本当にでも十分じゃと思いますけど。
- 委員長（原田素代君） 一応皆さんのほうの御意見いただいたので、どうしましょう、議長。きょうは審議したということできましようか、それとも……。
- 議長（小田百合子君） 一応全協でも、済いません。
- 委員長（原田素代君） はい、議長。
- 議長（小田百合子君） 全協でもある程度のお話はしときたいんで、だからここでこういう方向に向かいたいっていうふうなことまでやっていただけたらと思うんですよ。
- 委員長（原田素代君） そうしますと……。
- 議長（小田百合子君） 例えば、開始日を1つ、1日おくらすっていうふうな、そういう方向で今、議運で検討してますっていうふうな、そういったことをできれば。
- 委員長（原田素代君） いや、一応。
- はい。
- 委員（北川勝義君） 8日じゃったけん、1日減すという……。
- 委員（松田 勲君） 前に前倒しで……。
- 議長（小田百合子君） いや、前にすると締め切りが早く来ちゃうから、それで困るという人がいるわけでしょ、最終日に固まるということは。だから……。
- 委員長（原田素代君） それは同じでしょ、どっちにしても。
- 委員（北川勝義君） そりゃあどっちにしても同じじゃ、そりゃ議長。
- 委員（松田 勲君） 最初が……。

- 委員長（原田素代君） だから、要するに8日間だったのを7日間に見ましようかという……。
- 委員（北川勝義君） 僕は7日間じゃと思ようたもん、今まで。
- 委員長（原田素代君） 木曜から木曜だから厳密に言うと8日になりますけど、だからそういう御意見……。
- 委員（北川勝義君） 福木さん、1日じゃたらええんじゃろ。
- 委員（福木京子君） みんながそれで……。
- 委員（北川勝義君） 土日ある、いや……。
- 委員（福木京子君） そこまで反対はしませんけど、やっぱし今、例えばいろいろ意見聞かれて、赤坂、吉井では何かあったりして、ここへ持ってこにゃあいけんのんじゃから。
- 委員（北川勝義君） じゃから、ファクスで送れるが。
- 委員（福木京子君） え。いや、印鑑押さにゃあいけんが。
- 委員（北川勝義君） 印鑑は送リゃあええもん。
- 委員（松田 勲君） 印鑑を押してファクス。
- 委員（福木京子君） うん。
- 委員（北川勝義君） 印鑑を押してファクス送リようる。
- 委員（松田 勲君） 印鑑を押してファクス。
- 委員（北川勝義君） せえ、現物も送リようる。
- 委員（福木京子君） え、それで受け付けるの。
- 委員（北川勝義君） 当たり前じゃがな。
- 委員長（原田素代君） ファクスある。
- 委員（金谷文則君） だから、支所へ行って……。
- 委員（福木京子君） ああ、支所でか。
- 委員（金谷文則君） 支所で受け付けしようる。
- 委員（福木京子君） あ、支所でな。赤坂と吉井の支所で。
- 委員（北川勝義君） 支所でファクス送ってえて、原稿はそのとき送ってもらうん。
- 委員（福木京子君） ここまで来んでもええわけじゃな。それはわかりました。
- 委員長（原田素代君） そしたらじゃあ、よろしいでしょうか、今までの8日間を7日間にちょっと短縮してみましようかという御意見だったということで、皆さん御了解いただけますか。
- 委員（福木京子君） それちょっと確認して。
- 委員長（原田素代君） はい。
- 委員（福木京子君） どういうこと、だから結局が。
- 委員（北川勝義君） 1日……。

- 委員長（原田素代君） もう一度、日程のことについて……。
- 委員（福木京子君） いやあ、だから執行部が……。
- 委員（松田 勲君） 今、受け付けの最終日と……。
- 委員（福木京子君） ちょっとそこを確認してん。
- 委員（松田 勲君） 議会の始まりの日にちの間は決まっとんかな、何日とか。決まっとん。
- 議会事務局長（富山義昭君） はい。
- 委員（北川勝義君） じゃけ、最終日を1日早う終わりゃあええんじゃ、締め切りを。
- 委員（松田 勲君） そうじゃ。だから……。
- 委員（金谷文則君） 繰り上げりゃええんじゃ。
- 委員（福木京子君） 執行部の都合ですか。だから、まとめて執行部に出した……。
- 委員（北川勝義君） 福木さん、福木さん、執行部じゃねえんじゃ。議長の都合でも、議長もそう思よろけん、1日しょう言ようるのになら、最後の日を1日前に持ってこうや。
- 委員（福木京子君） いや、だから職員の段取りと。
- 委員（金谷文則君） それで、そのまとまった最終日に全部まとめて15人来たら、それを執行部へ出すんじゃろ。
- 委員（北川勝義君） そうそうそう。
- 委員（金谷文則君） 最終日に。
- 委員（北川勝義君） うん。
- 委員（福木京子君） だから、最後の日をもう1日、職員としては欲しいということじゃな、準備のために。そういう意味じゃな。それじゃったら納得がいくんですけどね。
- 委員（北川勝義君） 納得したで。
- 委員長（原田素代君） 局長のほうどうですか、説明できます、今の議論で。
- 委員（松田 勲君） 1日前倒しで。
- 委員（北川勝義君） 最終日……。
- 委員（松田 勲君） 最終日を前倒し。
- 委員（北川勝義君） だから、22から28にするん。1週間にするん。今まで8日間とつとるから……。
- 委員（松田 勲君） 今回も……。
- 委員（北川勝義君） 今まで8日間とつとるから7日間にしますという。
- 議会事務局長（富山義昭君） はい。
- 委員長（原田素代君） はい、局長。
- 議会事務局長（富山義昭君） 申し合わせ事項で、通告書の提出期限は議会運営委員会開催日の2日前、市の休日を除くということですが、2日前の午後5時までとすると、受け付け開

始は締め切り日の1週間前からとするところとなっておりますので、例えば議会運営委員会開催日の……。

○委員長（原田素代君） 2日前。

○議会事務局長（富山義昭君） 3日前とすれば、1日……。

ただし、受け付け開始日は締め切り日の1週間前じゃなくて7日前といたらいいんですか、その表現は変わってきますが、それだけのことでいいんです。

○委員（松田 勲君） それでいい。

○委員（北川勝義君） それがええ。

○議会事務局長（富山義昭君） 実は、きょうの議会運営委員会開催日の2日前に締め切っていたのをさらに……。

○委員（北川勝義君） 3日前。

○議会事務局長（富山義昭君） 3日前にすると。

○委員長（原田素代君） 何か今回だけちょっと多くなりますっていう説明なかったっけ、一般質問の開始。それは要するに1週間なわけですよ、現行の申し合わせは。

○議会事務局長（富山義昭君） はい。今回は2日前が土曜日ということでしたので、市の休日を除くということになりますから、その関係が出てきたかもしれません。

○委員長（原田素代君） ですから、申し合わせでは7日間なんですよ。

○議会事務局長（富山義昭君） 1週間前からです。

○委員長（原田素代君） てことは、今回はたまたま8日だけど……。

○議会事務局長（富山義昭君） ただ、済いません。ただ、議長が思われてるのは、その1週間が長いのではないかということですので。

○委員長（原田素代君） だから、いや、1週間前を6日前にしましょうというふうに理解したらいいんですか。

○議会事務局長（富山義昭君） はい。そういう……。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、松田委員。

○委員（松田 勲君） いや、今よう考えたら、今回でいったら29日まで、木曜日まで受け付けでしょ。30日が金曜日で、31日は土曜日でしょ。きょう月曜日でしょ。そりゃあ事務局も大変だと思うんです。最初のほうに出してくれたらそれまでに打ち込みはできるんじゃないけど、きょう、今回みたいに最終日にどどっと出たら、それを職員が打ち込みをして……。

○委員長（原田素代君） 土日が入るとのことだね。

○委員（松田 勲君） うん。これだけのもんをつくっていかにかやあいけん。

○委員長（原田素代君） そうですね。

○委員（松田 勲君） それは現実問題、厳しいわ、そら。

- 委員（北川勝義君） 委員長、委員長。
- 委員長（原田素代君） で、で。
- 委員（松田 勲君） だから、1日前倒しにせんと、後で前倒しせんと、そらあ余裕持たさんといけんわ。
- 委員長（原田素代君） はい、北川委員。
- 委員（北川勝義君） 委員長、今言ようたけど、2月のとき、3月議会じゃなあ。3月議会の一般質問通告も2月10日から2月18日までだったんじゃ。やっぱりこれも言うたら8日間ととんじゃ。じゃから、今言う、言やあ……。
- 委員長（原田素代君） だから、3日前の6日間。
- 委員（北川勝義君） 8日ぐれえとりようたんじゃな。
- 委員長（原田素代君） 3日前の6日間よろしいんですか、もう一度確認しますけど、申し合わせ事項の変更を。2日前の1週間を3日前の6日間。
- 委員（北川勝義君） 3日前の1週間じゃが。
- 委員（松田 勲君） うん。
- 委員長（原田素代君） 1週間。
- 委員（松田 勲君） だから、今は2日前なんじゃろ。
- 委員（北川勝義君） 3日前に。
- 委員（松田 勲君） それを3日前にすりゃええんじゃが。
- 委員（北川勝義君） 3日前にすりゃええんじゃ。
- 委員（福木京子君） 数字だけ前へ前へ行くだけじゃな。
- 委員（北川勝義君） 前へいきやあ、そうそう、前へ行く。
- 委員（福木京子君） そういうこと。
- 委員（松田 勲君） そうそうそう。
- 委員長（原田素代君） てことは、1週間は変わらないんですか。
- 委員（松田 勲君） でも、3日前というたって、基本的には日曜も土曜日も入っとんじゃけんな、これ。
- 委員（北川勝義君） そうそう。
- 委員（福木京子君） そうそう。それでええが。1日……。
- 委員長（原田素代君） だから、入るときと入らないときとあるんです。
- 委員（北川勝義君） 大概入る。
- 委員（松田 勲君） でも、今回入っとるからきついわ。
- 委員（北川勝義君） 大概入る、2月もあれじゃけ。大概入る。
- 委員（松田 勲君） 29日……。
- 委員長（原田素代君） 月末の週ですけど。

- 委員（松田 勲君） 大体入るじゃろうなあ。
- 委員（北川勝義君） 9月議会見てみちやろうか、わしが大体。
- 副議長（岡崎達義君） ちょっとよろしい。
- 委員長（原田素代君） はい、岡崎委員。
- 副議長（岡崎達義君） 今いろいろ議論聞いてるんですけど、最初の日に出される人はよろしいですわね。最後に出される人っていうのは、別に1週間が10日になろうが20日になろうが……。
- 委員（北川勝義君） 関係ねえ。
- 副議長（岡崎達義君） 関係ないでしょう。
- 委員（北川勝義君） うん、関係ねえ、関係ねえ。
- 副議長（岡崎達義君） ですから、前倒しになろうが2日前倒しになろうが全然関係ない話なんで……。
- 委員（北川勝義君） 関係ねえ関係ねえけえ、そのとおりじゃ、言ようんのは。
- 副議長（岡崎達義君） 期間なんてほとんど関係ないということでしょう、そういう期間がありますよっていうだけであって。だから、1週間だろうが6日だろうが3日だろうが、一番最初に出す人はあれですけど、北川委員言われたように、途中で訂正とかそういうのがあった場合はやっぱり期間っていうのは必要でしょうけど、それだったら別に6日が5日になってもいいわけですし。最後に出される人っていうのはもう全く関係ないですよ、その最後が期間ですよっていうだけですから。
- 委員（松田 勲君） 締め切り日の……。
- 委員長（原田素代君） いや、ですから今、問題にしてるのは期間のことを言ってるので……。
- 副議長（岡崎達義君） ですから、一番最初に出される人は関係ないんですよ。
- 委員長（原田素代君） うん。だから、どこに出すかじゃなくて、期間をどういうふうにするかという議論を今してるので……。
- 副議長（岡崎達義君） だから、1日なら1日前倒しにして……。
- 委員（北川勝義君） わかる、言ようること。
- 委員長（原田素代君） だから、それを今詰めてるんです。
- 副議長（岡崎達義君） だから、事務局の負担を軽くするためには……。
- 委員長（原田素代君） そうです。
- 副議長（岡崎達義君） 1日でも2日でも前倒しにしたほうがいいという。
- 委員（北川勝義君） そう。そうしちゃうらにゃあ、やっぱり。
- 委員長（原田素代君） はい、局長、どうぞ。
- 議会事務局長（富山義昭君） 濟いません。事務局が負担なので期間をとすることは申し上

げておりませんので……。

○委員（北川勝義君） いやいや、そういうことは言ようりゃへん。もうへ理屈は言わんでもええ。

○委員（松田 勲君） そう言うんなら……。

○委員（北川勝義君） そねえなことを言うたらせんでもええじゃねえか、おめえ。

1日前でも、おめえ、そんなへ理屈……。

○委員（松田 勲君） そうやって言う……。

○委員（金谷文則君） まあまあまあまあ……。

○委員長（原田素代君） いやあ、ただそりゃあ……。

○委員（松田 勲君） 事務局のために言うてやりよんのにそんなこと言ようたら、もうやめようや。

○委員長（原田素代君） いや、ちょっと待って。

はい、議長、どうぞ。

○委員（松田 勲君） あほらしいわ、ほんま。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 議長、どうぞ。

○委員（北川勝義君） ちょうええ、ええ、委員長、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 今、議長がやっぱり一番間近で見ていきょうんが、議長経験者で議長や副議長が間近で見ていきょうて、これが一番今、岡崎副議長が言うたように前の日に、初日のときに出してくれる人じゃったら打ち込んだきやあええですがん。はっきり言うて、あんた今、事務局のことは問題ねえ言うたら、あした土曜日、土日で月曜日が議運の開く日じゃたら、それはあと10人一遍に出てきたらほんまに打つのに困るがん。実際、困ると言うて、せえ5時回ったり。せえから、僕らもそうじゃけど、書いてくるのがきれいな打って読めるような字じゃたらええけど、読めんような字も来たりして、そしたら整理に困るんじゃねえかと思うて言ようんじゃから、事務局のほうも議長やこう身近で見ようる者が配慮してくれようんじゃけ、ありがとうございます、そうさせてくださいというて、間違いのねえようにやりてえというて言やあええんじゃねえんかと思うたんよ。そねえなへ理屈言うんじゃたら、もうやらんでもええよということになっしまう。

○委員（松田 勲君） 今みたいな言い方すんだったらせんでもええが。

○委員長（原田素代君） まあまあ……。

○委員（松田 勲君） 事務局だけのためじゃないよ。執行部のほうもそうなんじゃろ。そう思うて議長も言われとんのに……。

○委員（北川勝義君） みんな、議長も気使うてくれとんじゃから、それに気使わなんたら……

…。

○委員（松田 勲君） それを事務局のためって言われるんだったらいいですよ。そうなったらもうせんでええよ、そんなもの。

○委員長（原田素代君） いや、事務局の……。

○委員（北川勝義君） 一応そう言わにゃあおえんわな。

○委員長（原田素代君） うん、そうそうそう。

○委員（北川勝義君） そねえなことはねえ、ありがとうとは……。

○委員長（原田素代君） そうです。それはそういうふうに……。

○委員（福木京子君） 事務局だけじゃないでしょ、この話の流れでは。

○委員（松田 勲君） そうじゃ。

○委員（北川勝義君） うん。

○委員（福木京子君） 事務局と、それから答弁の準備が要るから、そういうもんも関連しとんでしょ。

○委員（松田 勲君） それをあえて事務局のためとかという、じゃったらとか言うからおかしな話になるんじゃないかな。

○委員長（原田素代君） うん。だから、皆さんそれぞれお互いの立場を尊重してください。

○委員（北川勝義君） 岡崎副議長が言うたんでええんじゃないねえん。

○委員長（原田素代君） いや、だから基本はそう言ってるんです。

○委員（松田 勲君） だから、最初からそれを言ようんのに……。

○委員長（原田素代君） そうです。

○委員（松田 勲君） そういった言葉を返してくるんじゃないたら、もうせんでええが。

○委員長（原田素代君） いやいやいや、そうおっしゃらずに。

○委員（松田 勲君） せんでええわ、そんなん。

○委員長（原田素代君） だから、実はこれから全協……。

○委員（松田 勲君） やる必要ねえが、そんなん。

○委員長（原田素代君） 松田委員、ちょっと冷静に。

全協で報告する際に……。

○委員（松田 勲君） いやいや、いや、今の……。

○委員長（原田素代君） ちょっと黙ってください。

○委員（松田 勲君） 局長にちょっと言われえ、もう一回。言い直さにゃいけんわ、そんなん。そんな言い方すんだったら、もうせんでもええが。

○委員長（原田素代君） いやあ、ごめんなさい、松田さん、そこまでちょっと感情的にならずに、そりゃあ事務局長だって事務局の責任をちゃんと全うしようと思っておっしゃった言葉だと私のほうは理解したんです。

- 委員（松田 勲君） いや、実際、今回も金曜の1日しかねえわけじゃろ。
- 委員長（原田素代君） いやあ……。
- 委員（松田 勲君） だから言ってあげようのに、そういった言い方されるんだったら別にええがというて。
- 委員長（原田素代君） いやあ、だから今、福木さんが言ったように……。
- 委員（松田 勲君） どうもありがとうが普通じゃねえん。
- 委員長（原田素代君） いやいやいや、そうおっしゃらずに、福木さんも言ったように全体の……。
- 委員（松田 勲君） 議長もそう思うて言ってくれようんじゃないん。
- 委員（北川勝義君） 一番に見ようんじゃから。
- 委員長（原田素代君） そうです、そうです。全体を見ていろいろ見直しをしようという議論が始まったっていうこと、もう一度原点に戻ってください。
- それで、今、実は文言を確認したいわけですよ。要するに、前倒しとか……。
- 委員（北川勝義君） それは事務局に任しゃあええが。
- 委員長（原田素代君） 7日間、8日間っていう文言をこの後の全協できちっと報告するのに際して、今の申し合わせの文章をちょっと確認しておかなきゃいけないことなので、今それのやりとりをしています。
- じゃあ、一応ここで確認したいのですが、2日前を3日前に前倒しをすることと1日、8日間を7日間にするということを文章上整理をして協議会に諮ってくださいというふうに皆さん御理解いただいているんですか。
- 委員（松田 勲君） 今までどおりでいいです。
- 委員（金谷文則君） その前に……。
- 委員（松田 勲君） 今までどおりでええが、もう。
- 委員（金谷文則君） 発言があったことをもう一遍……。
- 委員（北川勝義君） 断りをせにゃあおえんちゃ。
- 委員（金谷文則君） 事務局に、あんた訂正があるんなら訂正するように……。
- 委員（北川勝義君） 訂正があるんじゃったらせえ、おめえ。
- 委員（松田 勲君） せんでええわ。
- 委員長（原田素代君） はい、じゃあ局長のほうからどうぞ。
- 委員（松田 勲君） する必要ねえ。
- 議会事務局長（富山義昭君） 申しわけございません。事務局のために御迷惑をおかけしてるといふふうに思ったものですからそういう言い方をしてしまいましたが、大変申しわけございませんでした。よろしく願いいたします。
- 委員長（原田素代君） よろしいですか。

○委員（北川勝義君） いや、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 全協で議長がそういう言い方せられるから、執行部に。そしたらせえ、その日にちが、文言がどうこうというのは次のときまででええんじゃから、つくりゃあよろしいが、事務局のほうで。きょう文言こうじゃというて言わんでも、そりゃあええげえに、今、委員長が説明されたことを事務局が説明してもうたらえんじゃねえかと思うんで、後のことは考えにや、書いてもらやあええですが。

○委員長（原田素代君） ということなので、もう一度確認しますけれど、2日前を3日前に、それから期間を8日から7日間ということで試してみましよう。どうなんですか、これで決定ですではなくて、試してみましようでいいですね。

○委員（北川勝義君） 試行でええが。今、岡崎さん言うのは今……。

○委員長（原田素代君） 様子を見ましようということですから、そこまでの確認として全協に報告しますと。

○委員（北川勝義君） 年度末までに聞きゃあええんじゃねえんか、3月まで。

○委員長（原田素代君） 様子見ながら、また次の全協がございますから。

○議長（小田百合子君） 9月議会から。

○委員（北川勝義君） うん。

○議長（小田百合子君） 9月議会から……。

○委員（北川勝義君） から試行させてもらうよう言やあなあ。問題ねえが。

○委員長（原田素代君） ということ提議させていただきます。だから、申し合わせ事項の文章は今の線に沿って書き直していただくということで御了解をお願いしたいと思います。それぞれ皆さん責任を持って仕事していただいているので、そこは尊重して進めたいと思います。

じゃあ、議長、今の1つ目はそれでよろしいですね。

○議長（小田百合子君） はい。

○委員長（原田素代君） そしたらじゃあ、2つ目についてお願いします。

○議長（小田百合子君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、議長。

○議長（小田百合子君） 2つ目の閉会中の委員会への市長等の出席についてを諮らせていただきたいと思うんです。

これは実はある委員会の中で、市長が立て続けに来なかつたじゃないかっていう批判がありました。それを受けてなんですけども、批判はあつたけれども、どこかではっきりと来なくていいっていうふうなことを申し合わせに入れるように決めてくれと。それは議運のほうで諮らせていただいたら決められますので。というのが、私も常々考えてたんですけども、毎月、委員会を今やってます。その委員会に市長、教育長がいつも出席しなければいけないようでは、

県のほかの会議とか中央の陳情とかも、市長にしてみたらやはり企業誘致とかそういった仕事もたくさんあります。この日は委員会があるからっていつてその日をほかの予定に使えないとか、そういったことでやはりかなり支障があると思うんです。ですから、他の大事な公務があるときには出席しないでもいいと、そういうふうに決めていただきたいと思ってたし、市長に対しても私からそれでいいですよと、公務に行かれて、休会中の要するに議案を上程されてないときの委員会は無理しなくてよろしいですよとあってあります。それで、大体、市長もいられる時間はいるけども、何時から行かなきゃいけないとかとって断りを事前に委員長にして、それで出られたり休まれたりしてるんで、これをそれでよろしいっていうふうなことを決めていただきたいんです。お願いします。

○委員長（原田素代君） 議長、今の御発言の中で議長の判断でそういうふうにして市長に申し上げてるところは、ちょっと一応議運のほうで、やはり私も抗議を受けたんですが、一応そういう確認をした上でそういうふうにしていただいたほうがよかったのではないかと思うんです。ですから、きょうこういう提案を議長のほうからしていただいたので、改めて皆さんのほうから果たして閉会中の委員会で公務優先ということで了解をされるかどうか、ここで皆さんの御意見をいただきたいと思います。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） この間の厚生委員会で欠席せられたんじゃろ。

○委員長（原田素代君） はい。

○委員（北川勝義君） そういう話を今聞いたんじゃけど、今までの議長のと、歴代の議長のと、閉会中のときに、教育長は総務文教とか文教のときは来るんじゃけど、例えば教育長が欠席するということはなかったです、市長も井上市長にしても荒嶋市長も。そりゃあ議長に対してはさせてもうてもええんじゃねえかという話がありました。ありましたけど、だめでした。せえで、今までも言うて、議長は配慮の仕方のどこまでのあれがあるんじゃけど、僕は委員長のと、ほとんど委員長しとる、市長、副市長、教育長、欠席せられたことはほぼ皆無です、出てくれえと。せえ、出て、そのときに予定表で閉会中のやるときに、打ち合わせをしとるときに、この日はもう日にちがないと、そのときは市長はもうきょうはいないんじゃと、どうしてもこっちのスケジュールが入るとんじゃと、このときにといたら、それは市長は昼からは出れるとかというたら昼からでよろしいとか、市長はそのときはよろしいと、そのかわり副市長はおってくださいとかというようお願いで調整を、委員会ははっきり言うて委員長に責務を持たされとんで、そのとこで理解しとります。初めから閉会中に休むというふうな審議は今までの議長のと、やってねえんで、そりゃあ不届きじゃと思います。そうじゃなくて、議長の言われようることもわかるんじゃけど、来られとって、今回は何時には来れませんと、何時に来ますとかというて、1泊の出張とかというのは別の話で、議長初め特に委員長のほうへ了承をとっていただきたえ。初めからこれはもう委員会じゃけえ来んでもええ

んじゃない。来んでもええんじゃ言うたら言い方悪いけど、というような軽視されるようなやり方は。

こりゃあこけえおられる方は皆わかっとるけど、通常の、僕が言い出しっぺなんじゃけど、委員会を毎月1回ぐれえはすべきじゃねえかという話をして、今それが続いてきとんです、閉会中も。本当にねえときもあります。全然のうても1回ぐれえやろうじゃねえかと。状況が市がどうなっとるかというてやりようんじゃから、執行部のほうも議会のほうへこういうこともありますよというんでやるんで、市長、副市長とか皆おるのは僕は当たり前じゃと。

せえで、原則はそういうことで、せえ議長の言われたことを拡大解釈じゃねえんですけど、僕らあの言うことを拡大解釈してもうて、朝は10時からはお出でられたけど、11時から会議へ出ていかせてもらいますというのは、これはあります。そういうそれが公務といえど、例えばこの間休んだのは何の公務じゃったんか聞いてえわけですよ。じゃけ、うちらあのときは、僕は委員会のときにはこういうことで、100歳訪問とか、例えばここへ行ってきますから、県のあれへというて言うたり、そりゃよろしい、行ってくださいというて言ようるわけです。じゃけ、何か見たら、ちょっと友達と会うてきたんじゃというたんじゃあちょっと情けねえんで、どこらが公務かわからんのじゃけど、全部公務じゃというたら公務ですけど、そこらあのことがあるんで、一応原則的には出ていただくと。それで、どうしても出れんときは委員長に言われるとか、日程調整しようるときにそれができるんじゃねえかと思うんですよ。そういうやり方で一応、議長の言ようることはそういう僕の言ようんと似たようなこっちゃろうと思うんじゃけど、そういう断りをして時間をするというにしてもらいてえと思うんです。

せえで、両方の、副市長ですわな、今、1人じゃから。副市長も両方おらんとか、例えば言うたら教育長もおらん、教育次長もおらんようなことだけは、調整のときにそういうことはねえと思うんじゃけど、そうしてもらいてえと、僕はそう思います。

それで、余り議運の中で決めて、議会運営委員会がもう来んでもええんじゃというようなことを決めとったら、何か委員会が軽視になるんじゃねえかと思うんで、ぜひそういう考えで。

○委員長（原田素代君） ほかの委員長さんのほうはどうか、それぞれ。

○委員（福木京子君） いいですか。

○委員長（原田素代君） はい、福木委員。

○委員（福木京子君） 前、市長のほうが、いや、これまでは大体、市長出られとったかなあ、去年は。それで、ここ最近、一回11時過ぎに理由を言って出られたんですが、今回もちゃんと調整はして、市長もいらっしゃるときに調整したんですが、急遽、県の防犯の何かそんなんで入られたということで。だから、きちっとその理由を言うてくださいというて一応挨拶の中に入れてもらったかな。副市長のほうの挨拶の中にこういう理由で急遽、あ、言わなかったかなあ。

○議長（小田百合子君） 副市長に言ってもらようた。

○委員（福木京子君） 言ってもらったんよ。理由をきちっと言ってもらって、市長来れないということで委員会を進めたんですけど。

○委員（北川勝義君） 委員長は了解しとったんじゃろ。

○委員（福木京子君） それは市長出られるという分で、日にちは了解しておりました。

○委員（北川勝義君） せえ、今度は……。

○委員（福木京子君） それで、急遽……。

○委員（北川勝義君） じゃけん、急遽なったのを了解しとったんじゃろ言うん。

○委員（福木京子君） それは了解しておりました。

○委員（北川勝義君） ほんなら、ええがな。それを言うとなんじゃが。

○委員（福木京子君） 知っておりましたよ。

○副議長（岡崎達義君） よくないが。

○委員（福木京子君） 一委員の方から、そらあ市長は出るべきじゃないかという意見をずっと前、言われてたんで、途中で出られたときに、それで諮ったんですが、議長も今言われたような意見も一応言っていたいただいて、何とかその辺を意思統一をしておいていただきたいというて私のほうからも議長にもお願いはいたしました、この件については。それで、きょう議題が。

○議長（小田百合子君） ちょっといいですか。

○委員長（原田素代君） はい、議長。

○議長（小田百合子君） 要するに、一委員の方からって今言われましたけども、要するにどこかでそういうときはこういうやり方でいっていうことをみんなで……。

○委員長（原田素代君） そうです。ルールが確認されてないんです。

○議長（小田百合子君） 議運では委員長が3人……。

○委員長（原田素代君） いらっしゃるから。

○議長（小田百合子君） 皆さんそろっとられるからそういったことを徹底して、議運のほうでそれでいいときと悪いときっていうのは委員長が最終的に決めるっていうことなんですけども、できるだけ大事な公務があるときには行かせてあげてほしいというのは、これは私の気持ちですから、よろしくお願いします。

○委員長（原田素代君） だけど、整理しなきゃいけないのは、議長のほうの意向と、それからこのルールをちょっときちんと整理したいので、議長はそういうふうに市長に申し入れてらっしゃるから恐らく市長は公務を優先して入れられてきたんだと思うんです。だから、そのことについてここでもう一度確認をしたいという議論ですので、委員長の皆さんそういうおつもりで御発言いただきたいんですけど。

○委員（北川勝義君） ちょっとちょっと、ちょう言わせて、それどうしても、ちょう。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 議運の委員長に言われようることもあって、議長の今言われたことで

議運で諮っていただきたいというのを、決まりを、ルールを委員長も言うて……。

○委員長（原田素代君）　ここで。

○委員（北川勝義君）　委員長もルール、それはようわかっとな。じゃけど、その前のときもそういうことがあって、こうせにゃあおえんというこつて、井上さんでも、井上市長のときでもきょう何時に出ますというこつて、ここで委員会するとき、きょう、委員長は聞いとつて、この1時間が10分延びる場合もあるし50分で帰ってこれる場合もあって、そういうふうなことはよくしております。それから、友實市長になつてもやられて、途中から帰つたら友實市長に御挨拶していただいたりあるけど、今、公務をというて言われたん。そのこの公務という言葉のことが今かちんときたからあえて言わせてもらよん。

市長、一番大事なんは議会じゃからよう。議会が一番大事なんじゃから議会を一番にしてもうて、国会じゃねえんじゃから議会を一番にしてもうて、それからしていただきゃあええんじゃから、ほかのことを優先してもらやあ。せえのときに、閉会中の委員会をしとるときに、言うちゃあ悪いけど、県知事がどうしても備作高校のことでお会いしてえんじゃとかという例えば大事な用があつたり、国土交通大臣がこんなことを赤磐市にやっちゃりてえんじゃというてあつたら、そりゃあ理由を委員長に言われて行くということ、原則的には僕はくでえですけど、委員長、議長の許可を得るといふような形にしてもうて、束縛をしようというんじゃねえんですけど。ほんなら、例えばの話が、これがそこまでなし崩しにだんだんなつていつたら、本会議中のときでも、本会議でもおらんなんでもえんかということになつて、僕はおらんから副市長に答えさすということになるから、一応縛りをつけてなかつたら、市長が例えばきょうは公務ですよというて、こういうて全部公務で出ていかれたらこれたまつたもんじゃねえ。議会を最重要視してもらわにゃあおえんと思うとんで、そういう、お願いします。

○委員長（原田素代君）　その関係をまとめようと思つてます。

○委員（北川勝義君）　これを議運の中で……。

○委員長（原田素代君）　そうです。

○委員（北川勝義君）　ある程度決めとつて……。

○委員長（原田素代君）　そうです。

○委員（北川勝義君）　していただきゃあ僕はええんじゃねえかと思つて。

せえ、議長、僕は議長、言い方がちょっと悪かつたんが、今はえかつたけど、悪かつたというんが、議長言うとりますというんじゃのうて、そういうぐれえはええですよという気を使ゆる、さっきの一般質問のと同じじゃねえかと思つんじゃけど、今までも荒嶋さんのときも井上さんのときも友實さんのときでもそうやって3人の市長そうやられてきとるから、もうそりゃあ仕方がねえんじゃねえかなあとは思つとんで。

○委員長（原田素代君）　わかりました。

じゃあ次、どうですか、金谷委員長。

○委員（金谷文則君） 基本的には、委員会も含めて閉会中であれ出席のメンバー決まってるんですから出席するというのが大前提ですが、それぞれそのときに判断として市長なりがどうしても必要だと当然判断をされて委員長に相談をして、委員長がわかりました、了解しましたといえど当然、欠席されても遅延されても私は何ら必要ないし、そのことをきちんと委員長がその委員会で説明をされれば問題ないことだと思いますので、今、皆さんがおっしゃられてるようなことになるんじゃないかなと思います。

○委員長（原田素代君） 要するに、従来どおり委員長の責任で判断をしていただくと。

○委員（金谷文則君） と思います。

○委員長（原田素代君） 公務と重なった場合。

○委員（金谷文則君） そのほうが当然じゃろうと思います。

○委員長（原田素代君） 委員長が強く、いや、こちらを優先しろといえど、公務があろうが委員会に出ていただくと。

○委員（金谷文則君） 公務という言い方が難しい。これも公務でしょうから、そういうふうにくくってしまうと難しいですから、事柄としてどうしても出ていかなきゃいけないとかっていうことがあるんだったら相談をいただいて、委員長が了承しました言われればそのような形でさせていただきやあいんじゃないかなと思います。

○委員（北川勝義君） ちょっちょっと委員長、ちょっと。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 議運をするときに局長は、例えばきょう北衛があるとか老人があるとかというのは全部、うちはし尿があるとか打ち合わせをして日にち決めていきょうるでしょう。じゃあから、担当、総務部長から皆、決めようりますが、予定表を。せえ、急遽入ってきたようなことにはあるんで、そのときにやっぱりこれは原則じゃあから、今、金谷さんも言われたの皆ええんじゃないけど、議運で審査して日程表をつくったんじゃないたら、その日程表に従ってもらいてえというのが僕らあの原則で、今、金谷さんが言うたけど、委員長のところへこう、ほかのこういう公務が急遽できたんでこっち行かせていただきてえ、どうなんでしょうかというたら、議長にはもちろん相談しとるが、そういうことでやらせてもうてするのはええと思うんじゃ。初めからそれがありますよというんじやのうて……。

○委員長（原田素代君） そうそう。

○委員（北川勝義君） というようにちょっと、ありというたらほかのきょう全協しようるときに、それで決まりましたから皆さんお願いしますというて議長また言うたらちょっとなると思うけん……。

○委員長（原田素代君） 意見が……。

○委員（北川勝義君） ここの予定表に載つとる以外に出てきたときには、委員長のところに相談してくださいという、そういう言い方を軽うしとったほうがええじゃねえかなあと思うたん

じゃけど。そうせなんだら、重とうなろう。余りこれが軽うなっしもうたらおえんけん。

○委員（金谷文則君） 議論をしたということが……。

○委員（北川勝義君） そうそう、そうしてもらわなんだら……。

○委員（金谷文則君） 大切だと思います。

○委員長（原田素代君） それとあとは、委員長の責任っていうことが重くなりますが、必要性があればきちんと判断してください。

○委員（金谷文則君） 当然、委員長がその委員会を仕切るわけですから。

○委員長（原田素代君） そうですね。

○委員（北川勝義君） 委員長、例えばきょう厚生でもええが、これ厚生として。例えば、市長がこれから12時じゃねえと来れんとしますがん。そしたら、そのとき、開会のときに事務局のほうで連絡、市長のほうはきょう、言われるがん、誰々がおくれとりますとか休みが出とりますとか、委員の。言われるんで、そのときに出とりますというのも委員長のほうにも送とりますというて言うてもろうたらどんな。

○委員長（原田素代君） 欠席の場合ですね。

○委員（北川勝義君） うん。

○委員長（原田素代君） だから……。

○委員（北川勝義君） 欠席とか遅延したりするとか……。

○委員長（原田素代君） もちろん、それは必要だと……。

○委員（北川勝義君） そういにしてもうときゃあ簡単な、そのほうがええんじゃねえん。

○委員長（原田素代君） ほかにどうですか。

保田さん。

○副委員長（保田 守君） 金谷さんの言われたとおりで、今までのとおりで……。

○委員長（原田素代君） 私も実は……。

○委員（北川勝義君） 今までどおりになってねえけんおえんのんじゃ。

○委員長（原田素代君） 私も実はちょっと今回のことで困ったなと思ったのは、ちょっと厚生委員会にかかわることなんですけど、今、熊山の最終処分場問題が大きな事業になっていながら、この間の厚生委員会では市長がおいでにならなかつただけでなくて、後で聞くと説明会に市長も副市長も行っていないんですよ、熊山の。大分住民の方がお怒りになってたということも聞いたので、私は今、当面、赤磐市の大きな事業として熊山の最終処分場問題を抱えているときに説明会にお二人も出てない、それから委員会に市長も出てない、それについて藤井参与がそのように報告しなかったっていうことについて、私はかなり後で知ってから問題だなあと思ってるんです。

これは委員長のほうの判断なんですけど、やっぱり今、委員会で抱えてる懸案事項について、この時期にやる委員会に市長、副市長が要るのかということは十分に正副委員長で御相談され

て、やはり皆さん、北川委員やほかの方もおっしゃるように、そのために議会運営委員会開いてるわけですから、この行事に沿ってやってるものなので、突発的なことがあった場合でも委員会として必要性を認められる場合はやはり委員会のほうを優先していく場合もあるだろうと。だから、私は小田議長が大分公務を閉会中の場合はどうぞというふうに申し上げたということについてはちょっと気になっていて、とにかく原則は委員長判断としてください。委員長が、ああ、結構です、今回はいいですよとなったらそれはそうして優先していただければいいですが、その点だけはそういう意味で従来どおりだと思うんです。一応、委員長のほうが必要性の判断をして、公務を優先してくださいということもあるでしょうし、場合によってはいただかないと話になりませんという場合もあると思うんです。ですから、そこは従来どおり委員長の判断で調整をしていただくということにはできないかと思いますが、これは私の意見です。

それでは、どうでしょうか。それはちょっとよくないでしょうか。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、福木委員。

○委員（福木京子君） それは委員長の関係にはなるんですけど、責任があるんですけど、やっぱり急遽、県の他町の市町村との関係でどうしても出ないといけない場合は、それをそれとこの委員会とで委員長が判断せえというたって、そらあちょっと難しいですよ、そういう場合は。

○委員長（原田素代君） いや、それは委員長が責任をとるんだから、委員会を優先すればいいことですよ。

○委員（福木京子君） いや、だけどそれはちょっと、それは難しいんじゃないん。

○委員長（原田素代君） いやあ……。

○委員（福木京子君） そこまで委員長が……。

○委員（金谷文則君） 基本的には……。

○委員（北川勝義君） ちょっと、ちょっと、金谷さん、金谷さん、金谷さん、金谷さん、金谷さん……。

○副議長（岡崎達義君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、岡崎委員。

○副議長（岡崎達義君） 今いろいろ意見が出ましたけど、原則としては市長は出席するという形にしといて……。

○委員長（原田素代君） そうですね。

○副議長（岡崎達義君） それで、委員長がそこらあたりの判断はきちっとした上で、今回は市長は出席しなくていいだろうと、公務のほう为重たいだろうと、ほかの公務ですよ。

○委員（北川勝義君） これも公務。

○副議長（岡崎達義君） ほかの公務ですよ。ほかの公務のほうが重たいだろうと判断した場合は、中の委員の皆さんが納得できるような形でやっぱり説明していただくと……。

○委員長（原田素代君） そうですね。

○副議長（岡崎達義君） ということにしておいたほうがいいんじゃないかと思います。

○委員長（原田素代君） 私もそう思うんです。

○副議長（岡崎達義君） ですから、そこはやはり市長と委員長の……。

○委員（北川勝義君） それでええが。

○委員長（原田素代君） うん。

○委員（北川勝義君） そうしよう。

○副議長（岡崎達義君） 意思の疎通を滑らかにして……。

○委員長（原田素代君） そう、従来どおりです。

○副議長（岡崎達義君） やっていただきたいと。もうそれしかないと思いますので、そうしていただきたいと思います。

○委員（北川勝義君） 委員長、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 今の賛成で、それでええと思う。僕、さっき言ようと、せえでええと思うんじゃないけど、ただ1個、厚生委員会のこって判断どうのこうの、厚生委員会のことはもし必要なかったら、厚生委員さんがおられるんじゃないから、市長、副市長がおる、市長がおらにやあできんというたら、もう一度、何月何日に厚生委員会してくださいというてやりやあええんですよ。総務文教やこう月に2遍はしようたことありますがんなあ。じゃけえ、やっぱりそりやあやりやあええんじゃないやねえですか、厚生でどしどし。毎日やれえとは言わんけど、よそのことで口挟む、必要なかったらやりやあええんじゃないやねえかと思うんで……。

○委員（松田 勲君） 調整してなあ。

○委員（北川勝義君） その調整はそちらでやっていただきやあええと思うんで。

○委員長（原田素代君） それぞれのやり方がありますということで、尊重してやっていただくと。

基本はだから、もう一度確認しますが、一応閉会中でも出席を前提とさせていただきます。ただ、お忙しい業務の中でどうしても今回この時間に、それも突発的ですよ。ここで決めるのにないわけですから。だから、突発的に非常に重要な公務が入った場合は、委員長との相談の上で決めていただくということでよろしいでしょうか。

議長、よろしいでしょうか。

○議長（小田百合子君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、議長。

○議長（小田百合子君） これは皆さんも十分わかっておられて、そうしてくださると思いま

すけれども、委員会の運営の方法でこの間、突然発言されたんですよ、副市長の挨拶と副市長の挨拶の中で市長が来れない理由を。

○委員（北川勝義君） ああ、言おうと。

○議長（小田百合子君） 言おうとしてたのに、突然手を挙げて……。

○委員長（原田素代君） そう、先にあったから。

○議長（小田百合子君） 勝手にしゃべり出されたことから中が荒れたんです。ですから、とにかく委員長が発言をとめていいわけですから、まず最初にお断りがありますからといって、それは抑え込んででも言わせるべきじゃなかったと思うんです。ですから、皆さんそういうところを委員長権限、そういうところはしっかりと使っていただきたいと思います。

○委員長（原田素代君） そうしましたら、このことについてはたまたま厚生委員会から出ましたけれど、一応、議会運営委員会として今の申し合わせで進めさせていただくということをもた御報告のほうを全協でお願いしたいと思います。議長、よろしくお願いします。

一応予定の協議事項はこれで終わりますが、委員の皆さんからまた何かほかにあれば。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） ここへ配置図が出とんのは、今度はこうなるのかなあ。

○議会事務局長（富山義昭君） あ、委員長。

○委員長（原田素代君） じゃあ、その他を局長のほうから、ほかにもあるので説明させます。

○委員（北川勝義君） あ、その他で。

○委員長（原田素代君） はい。

○議会事務局長（富山義昭君） では、失礼します。

○委員長（原田素代君） はい。

○議会事務局長（富山義昭君） 今お手元にお配りしております議会の議席の配置図案でございます。

これにつきまして簡単に説明させていただきますと、執行部のほうの席を変えて考えております。左の執行部の中に総合政策部長が新たに入ることになりましたが、その場所に予定をしております。それから、右に行きまして、教育長の隣に教育次長に座っていただくと考えております。また、議長から指名する場合に見やすいということも含めて、保健福祉部長を右の席に持ってきました。左の一番隅に藤井参与の席がございますが、藤井参与と、それから右にあります教育委員長、監査委員につきましては、申し合わせにもありますように必要に応じてということになっておりますので、石原部長につきましては常時その席に座っておいていただいたほうが議長からも指名がしやすいというふうなこともございまして、そのような席となっております。大きく変わりますのは、教育次長が前に出て座るということ、保健福祉部長が右席に行くということ、それから新たに総合政策部長が席を……。

○委員（北川勝義君） そんなわけのわからんことを……。

○議会事務局長（富山義昭君） ということです。そのように考えております。よろしくお願
いいたします。

○委員（北川勝義君） 考えとります、誰が考えとん。ちょっとええかな。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） ようわけのわからんことを簡単に説明して、藤原監査委員と教育委員
長は出るんか出んのんかということ聞きょうんじゃがな。

○委員長（原田素代君） はい、局長。

○議会事務局長（富山義昭君） 両委員につきましては基本的に出られません。9月の決算の
ときには監査委員が出られます。

○委員（北川勝義君） そんなことは聞きょうりゃへんちゃ。そねえなことはわかっどる。委
員長。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 議運のほうからこれはほんまに諮ってもらわにゃあおえんのは、まあ
ええというて、うちが出んでもええとかというて、今までは教育委員長もずっと出ようられ
て、せえで途中から出んでようったり、監査委員も出たり出なんだりするけど、9月の定例
決算のときには監査委員が出にゃあおえんのは当たり前の話じゃ、そりゃあ自分が提案するんじ
ゃけえ。

そりゃええんじゃけど、教育委員長じゃとか監査委員は全日出てこいとかというんじゃねん
じゃけど、やっぱり提案するときじゃとかというには僕はうちのほう言うんじゃのうて、で
きたら議運のほうから、議長からお願いして教育委員長とか監査委員は招集してかけるべき
じゃと思うんですけど。毎日という話ししょうんじゃねえんですよ。そうせなんだら……。

○委員長（原田素代君） 初日。

○委員（北川勝義君） 初日は絶対出てもうてなかったら、提案、決算するからというて、決
算初日のこと、当初が決算できてねえのに、わかってねえのに、当初予算で、失礼な話しし
ょうんじゃねえけど、僕はいろいろ気を使うてあげようんかもしれんけど、内田教育委員長、そ
れから藤原監査委員や代表監査に出てもらべきじゃねえかと思うとんで、必要がありやあど
いうて、毎回やるたびに今回必要があります、今回必要ありませんというような話じゃあのう
て、出てもらべきがええんじゃねえかなあと思う。

それで、結論的に言うたら、初日の提案するときがあるでしょう。とか、一般質問で教育行
政に関することとかということがありますがん。一般質問で例えば教育委員長に聞きたいとか
という、そういうことはないと思うんじゃけど、監査委員に聞いてえというのはねえと思うけ
ど、そのときぜひ聞いていただきてえということもあるんじゃねえかと思うんで、そこら
辺ぐれえまで出ていただきてえ。最後まで出えとかというんではないんですけど、ちょっとそ

う思うとんですけれど、そこらはできたら。体調不良とかいろいろあったり本人が出れんというときは別として、出てもらうように努めていただきてえと思うんですが、どんなでしょうかなあ、こりゃあ。

○委員長（原田素代君） どうでしょうか。教育委員長については教育長にお尋ねしていいんですか。それとも……。

○委員（北川勝義君） いや、これは教育長もじゃけど、ちょっとええですか。

○委員長（原田素代君） はい、ここの中で。

○委員（北川勝義君） 議長が議場内の整理するんで呼ぶんじゃから、議長が関係あったら出てもらやあえんじゃねえかと、定例の初日とかというのを。僕はそう思うて、議長にここの議運で申し合わせで議長のほうへお願いしてえというのをあえて言わせてもうて、監査委員も決算だけじゃのうて、決算期だけじゃのうて、やっぱり大事なこっちゃと思うんで。誰でもお金入るのはわからず、そりゃ優秀な監査委員じゃけわかつんじゃけど、やっぱり議場内での雰囲気でもうたほうがあえんじゃねえかと思うんで、ぜひ当初のときとか、言うたら切りがねえなるんで、定例議会のとき4回じゃから、そのときの提案説明と一般質問、質疑ぐれえまでのときはおつてもうたほうが、言やあ最後までおつてくれえというて5回ほどじゃから、四、五回のもんじゃから、じゃねえかなあ。最初と最後と質疑と5回じゃろ、一般質問あつても。

○委員長（原田素代君） 1回につき。

○委員（北川勝義君） 1回につき5回ぐれえは出てもろうたほうがえんじゃねえかなあと思うて。そのときに出れんときには議長にお断りしときやあええですが。と思うんですけれど、そのほうがようしっくりいくと思う。よそではやっぱり出たりしようところがあるんです。うちも出とったけど、何か途中から出んでもええようになつたりしたんで。

○副議長（岡崎達義君） ちょっとよろしい。

○委員長（原田素代君） はい、岡崎副議長。

○副議長（岡崎達義君） 監査委員はやっぱり言われたように出てもいいと思うんですけれど、教育委員長は教育委員の選任のときがありますでしょう。あのときだけはやはり出ていただいたほうがいいと思うんですよ。あとは、余り……。

○委員（北川勝義君） 教育委員長に聞くことはねえじゃろうな。

○副議長（岡崎達義君） うん。聞くことないんで出ていただかんでもいいけど、教育委員の選任のときはちょっと出ていただいといたほうがいいんじゃないかなあと思うんですけれど。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○副議長（岡崎達義君） 選任同意のときは。

○委員長（原田素代君） はい、はい、松田委員。

○委員（松田 勲君） 基本的にはそれでいいと思うんですけれど、ただ教育委員長は一般質問

は最近、教育のことが多いんで、教育の一般質問あるときにはやっぱり参加されとったほうがいいんじゃないかなあと思うんですよ。聞いとくほうが状況がわかると思うし。

○委員（北川勝義君） 生で聞いてもうたほうがええ思う。

○委員（松田 勲君） そう思いますけど。

○委員長（原田素代君） 議長のほうはいかがですか、今の提案に対して。

はい、議長。

○議長（小田百合子君） こういう必要があるから今度出てもらってくださいという申し出があったときに来ていただくようにします。だから……。

○委員長（原田素代君） それはこの議運でということですか。

○議長（小田百合子君） 議運で決めることじゃないですよ、これは。

○委員（北川勝義君） 議場内じゃからな。

○議長（小田百合子君） 議場内の整理ですから。

○委員長（原田素代君） じゃあ、議長に個別に言うんですか。

○議長（小田百合子君） だから……。

○委員（北川勝義君） 個別というのは。

○委員（松田 勲君） 議長の判断。

○議長（小田百合子君） ですから、さっきも北川委員が言ったように、要するにこうやって出てもらったらいいんじゃないかっていう要請があったときに、例えば今度の6月は余り予算は関係ないですよええ。でも、9月は大いにあるし3月もあるしと。そういうことで来ていただくっていうふうなことをこれは議長の裁量でさしてもらわないと、何もかも議運で決めるっていうふうにはなかなかなくなってませんから、よろしくをお願いします。

○委員長（原田素代君） じゃあ、要望として今までと変わってそういう配慮をしていただきたいと、出席については監査委員と教育委員長については。ということで御了解いただいたと理解していいですか。

○委員（北川勝義君） いや、ちょっちょっといいですか。

○議長（小田百合子君） 了解……。

○委員（北川勝義君） ええですか。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 原則的には委員長が言われたようなことなんじゃけど、議場内の整理はさっきから言ようる議長にあるんで、年の当初予算つくるときには当然、当初予算がわからんのに決算はできんということで、9月は当然の話じゃけど、それとか多いときがあります。せえ、今、松田委員が言われたんが、これは僕も、それで教育委員長は出てほしいというんがあったん。学校教育じゃ人権のことが多々出てきょうんで、これからは小中一貫校も出ていろいろのことになるから、生で激論しようんのを聞いてもろうたほうがええんじゃないか

思うんじゃないけど、一般質問のときだけ来て、招集日に、提案したとき来てなかったら来にきいんじゃないかと思うたりして。せえ、よそのを事務局のほうで調べてもうて、どうなりようるかというのを。どっこもそうねえんじやというていうのをちょっとしてもらいてえ。例えば言うたら、初日の日には出んでも、一般質問で教育の関係ようけえ出たとしますがん。そのときは来てもらえるというような、何か議長のほうで言うていく言うたらおかしいんじゃないけど、配慮をちょっとしてもらやあええんで。じゃから、初日出んのにどんなんかなあと思うてちょっと今、ちょっと何かおかしいかなと。

○委員（松田 勲君） でも……。

○副議長（岡崎達義君） 議長が……。

○委員（北川勝義君） 議長、副議長にお任せすんじゃないけど、ちょっと待って。お任せすんじゃないけど、できりやあ監査委員はもちろんのこっちゃけど、教育委員長についてそのときぐれえは出ていただきてえなというのは、これは要望言うたらおかしいんじゃないけど、要望、議場内のこっちゃけん議長、副議長にお任せすんじゃないけど、要望するというような、要望というて言い方悪いな。要望は言いにくい……。

○委員長（原田素代君） 要望しかないんで……。

○議長（小田百合子君） 御意見を受けて、私と副議長とで……。

○委員（北川勝義君） そうそうそうそうそう。そうしてください、要望じゃあねえんじやけど。

○議長（小田百合子君） 考えさせていただきます。そこはお任せいただかないと。

○委員（北川勝義君） 要望と言うたらなんか、要望はできまあ。

○委員（松田 勲君） ただ……。

○委員長（原田素代君） はい、松田委員。

○委員（松田 勲君） 監査委員はさっき言われたように9月議会は大体出られとるし、3月の当初も出てもらったらいと思うんです。でも、教育委員長は今の流れからいったら出てくるきっかけが何もないんじゃないんですか。なら、要らんのじゃないかなと。でも、今、市長も初め県もそうじゃけど、教育に関してすごく今、力を入れてる中で蚊帳の外じゃなくて、実際どうなのかっていうところを見てもらうためには、やはりこの席を設けるんだったらそういう機会を議長がしっかり判断して要請すべきじゃないかなと思います。

○委員長（原田素代君） わかりました。

じゃあ、一応議長のほうには、正副議長のほうで運営についての御判断をお願いしたいということで御了解をお願いします。

一応、配置図についての説明が終わりました。

じゃあ次に、お願いします。

○議会事務局長（富山義昭君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、局長。

○議会事務局長（富山義昭君） 事務局から最後の1件でございます。これは確認でございますが、さきの2月のこの全員協議会で決定いただいておりますように、議会の議員さんからの提出議案があった場合のことです。

今回は議会の議員さんからの提出議案ございませんが、仮に今後、議会の議員さんから提出議案があった場合でも議会運営委員会は開かずに、その写しを全議員に配付して定例会最終日の日程事項とするということにしておりますので、今後もし議員さんからそのような提出があったとしても、議会運営委員会は原則として開かない、なお議長が特に必要と認める場合はその限りではありませんということなんですが、そのようなことを申し合わせをさせていただいておりますので、この場でもう一度確認だけさせていただきました。よろしくお願いたします。

○委員長（原田素代君） 改めての確認です。

ほかに局長のほうからは。

○議会事務局長（富山義昭君） ありません。

○委員長（原田素代君） 大変長い時間になりました。委員の皆さんからよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） じゃあ、きょうは本当に長い時間お疲れさまでした。

1時からの全協のほうにどうぞ御出席のほうお願いします。

以上です。

午前11時42分 閉会